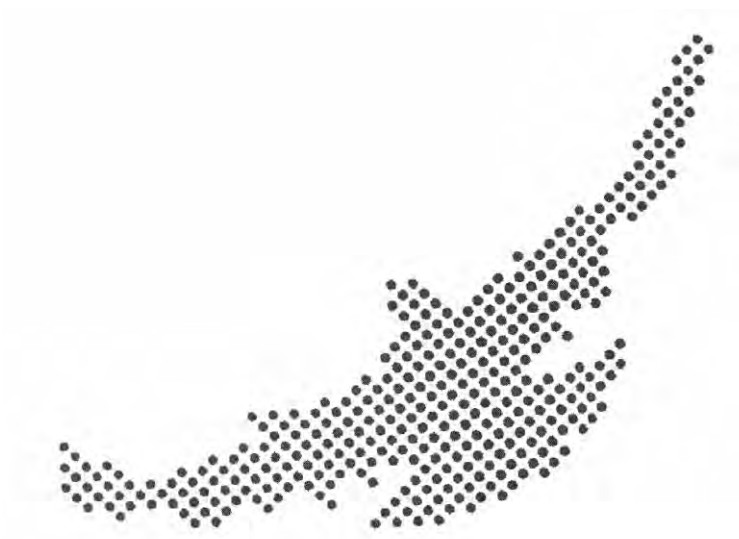


平成26年度
エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞
受賞者紹介



平成26年7月

一般財団法人 エンジニアリング協会

平成26年度「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」

受賞者名簿

◎第34回エンジニアリング功労者賞

<グループ表彰> 国際協力

(敬称略)

名 称 (50音順)	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
インドネシア・カレベダム建設 プロジェクトチーム [鹿島建設(株)、 PT PP(Persero) Tbk]	なか じま けん いち 中 島 健 一 (鹿島建設(株) 海外土木支店 土木部 部長) 22名
インドネシア・PAITONⅢ プロジェクトチーム [三菱日立パワーシステムズ(株)、 三井物産(株)、東京電力(株)、東亜建 設工業(株)]	さか い ゆういちろう 酒 井 雄 一 (三菱日立パワーシステムズ(株) エンジニアリング本部建設 統括部 長崎プラント建設部 工事計画課 課長) 135名
サウジアラビア王国 原油井戸 元設備改修改善提案プロジェク トチーム [東洋エンジニアリング(株)]	お ほん すずむ 小 原 進 (東洋エンジニアリング(株) 資源エネルギー事業本部 資源エネルギープロジェクト本部 本部長代行) 28名
パプアニューギニア LNGプロ ジェクトチーム [千代田化工建設(株)、日揮(株)]	ふじ さわ あきら 藤 澤 行 (千代田化工建設(株) 海外ガス・LNG事業本部 PNGチーム Project Director) 493名
ミャンマー連邦共和国 シュエ ゴンダイン高架橋 建設プロジ ェクトチーム [JFEエンジニアリング(株)]	み わ やす ひさ 三 輪 恭 久 (JFEエンジニアリング(株) 鋼構造本部 橋梁事業部 海外プロジェクト部) 15名

<グループ表彰> エンジニアリング振興

(敬称略)

名 称 (50 音順)	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
アラブ首長国連邦アブダビ首長国 GASCO IGDプロジェクト チーム [日揮(株)]	こ ぼやし しげ お 小 林 重 夫 (日揮(株) 第1プロジェクト本部本部長室 執行役員) 153名
扇島工場TL22 LNG地下式 貯槽建設プロジェクトチーム [東京ガス(株)、清水建設(株)、 (株)IHI、IHIプラント建設(株)]	つ つみ よう いち 堤 洋 一 (東京ガス・エンジニアリング(株) 海外事業本部 海外プロジェクト部 部長) 133名
白子川地下調節池工事チーム [東京都建設局、大成建設(株)、 佐藤工業(株)、(株)銭高組]	わ た なべ おさむ 渡 辺 修 (東京都 建設局 第四建設事務所 工事第二課長) ど ばし いさお 土 橋 功 (大成建設(株) 社長室 経営企画部 部長) 21名
ハーフプレキャスト工法を用いた 鉄道ラーメン高架橋の構築方法の 開発チーム [東急建設(株)、川田建設(株)]	は っ とり ひさ みち 服 部 尚 道 (東急建設(株) 土木本部 土木技術設計部 技術グループ 担当課長) 18名

<グループ表彰> 環境貢献

(敬称略)

名 称 (50 音順)	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
インド・JSW CDQプロジェ クトチーム [新日鉄住金エンジニアリング (株)、NSプラント設計(株)、北京日 中聯節能環保工程技術有限公司、 NSEI]	よ こ て こう すけ 横 手 孝 輔 (新日鉄住金エンジニアリング(株) 製鉄プラントエンジニア リング第三部 商品技術室 原料処理・コークス技術グル ープ グループ長) 49名

<p>水質保全システム「アクアトープ」開発チーム</p> <p>[大成建設(株)、日本植生(株)]</p>	<p>たき ひろ のり 瀧 寛 則 (大成建設(株) 環境本部 企画管理部 企画室・課長)</p> <p>はやし さとし 林 聡 ((株)日本植生グループ本社 事業推進部 岡山研究所・参事)</p> <p>8名</p>
<p>生態系に配慮した大規模緑地空間創造チーム</p> <p>[(株)大林組、南海電気鉄道(株)]</p>	<p>あか がわ ひろ ゆき 赤 川 宏 幸 (株)大林組 技術本部技術研究所 環境技術研究部 主任研究員)</p> <p>6名</p>
<p>パラビエント開発・展開チーム</p> <p>[清水建設(株)、みのる産業(株)]</p>	<p>なか むら けん じ 中 村 健 二 (清水建設(株) 技術研究所 高度空間技術センター グループ長)</p> <p>7名</p>

<グループ表彰> 中小規模プロジェクト枠

(敬称略)

名 称 (50音順)	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
<p>自動ラック倉庫制震システム開発チーム</p> <p>[大成建設(株)]</p>	<p>たか き まさ よし 高 木 政 美 (大成建設(株) 技術センター建築技術研究所防災研究室 次長)</p> <p>7名</p>
<p>新東京ライン建設第四期工事グループ</p> <p>[日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)]</p>	<p>ご とう あき ひこ 後 藤 明 彦 (日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株) 東日本支社 プロジェクト工事部第一プロジェクト工事室長)</p> <p>12名</p>
<p>タービン統合化及び既設5号ボイラ燃焼改善プロジェクトチーム</p> <p>[三菱日立パワーシステムズ(株)、三菱日立パワーシステムズエンジニアリング(株)、ジャパン・パワー・イニシアティヴ(株)、JENホールディングス(株)、防府エネルギーサービス(株)]</p>	<p>せき ぐち しん いち 関 口 慎 一 (三菱日立パワーシステムズ(株) ボイラ技術本部 ボイラ技術部ボイラ設計二課 主席技師)</p> <p>18名</p>

<p>中部大学 キャンパススマートグリッド導入プロジェクトチーム</p> <p>[清水建設(株)、学校法人中部大学、富士電機(株)、パナソニック(株)、東邦ガスエンジニアリング(株)、高砂熱学工業(株)]</p>	<p>かわ むら みつぐ 河 村 貢 (清水建設(株) 環境・エネルギーソリューション室 室長)</p> <p>31名</p>
<p>都市における耐火木造建築の実施プロジェクトチーム</p> <p>[(株)竹中工務店]</p>	<p>ふく もと こう じ 福 本 晃 治 ((株)竹中工務店 大阪本店設計部 構造担当課長)</p> <p>19名</p>
<p>微小発破による解体工法「マイクロブラスティング工法」開発チーム</p> <p>[鹿島建設(株)、(独)産業技術総合研究所、カヤク・ジャパン(株)]</p>	<p>やなぎ だ かつ み 柳 田 克 巳 (鹿島建設(株) 技術研究所 建築生産グループ 上席研究員)</p> <p>15名</p>

<個人表彰>

(国際協力)

(敬称略)

氏 名	現 職
<p>まつく ぼ てつ ろう 松久保 徹 郎 1953年(昭和28年)生まれ</p>	<p>大成建設(株) 国際支店土木部 海外作業所</p>

(エンジニアリング振興)

(敬称略)

氏 名	現 職
<p>み うら さとる 三 浦 悟 1956年(昭和31年)生まれ</p>	<p>鹿島建設(株) 技術研究所 主席研究員</p>

◎第6回エンジニアリング奨励特別賞

《実プロ化が期待される先駆的技術》

(敬称略)

名 称 (50音順)	代 表 者 (現職) ・ 構 成 員 数
EAGLE CO ₂ 物理吸収プラント プロジェクトチーム [電源開発(株)、千代田化工建設(株)]	なか しずか やす なお 中 静 靖 直 (電源開発(株) 技術開発部 若松研究所 所長) 20名
省エネ環境配慮型施設建設プロ ジェクトチーム [国際石油開発帝石(株)、(株)NTT ファシリティーズ、(株)大林組]	の むら かず お 野 村 和 男 (国際石油開発帝石(株) 国内事業本部 施設ユニット シニアコーディネーター) 21名
省エネシールド検討チーム [(株)大林組、立命館大学、三菱重 工メカトロシステムズ(株)]	はなわ もり ゆき 埴 守 幸 (株)大林組 本社 土木本部 生産技術本部 本部長) 12名
天然ガスの液体燃料化技術 (JAPAN-GTL プロセス)実証研究 プロジェクトチーム [(独)石油天然ガス・金属鉱物資 源機構、国際石油開発帝石(株)、JX 日鉱日石エネルギー(株)、石油資源 開発(株)、コスモ石油(株)、新日鉄住 金エンジニアリング(株)、千代田化 工建設(株)]	かた くら かず ひと 片 倉 和 人 ((独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油開発技術本部 GTL 事業推進チーム リーダー) 47名
ハイブリッド防潮堤開発チーム [JFEエンジニアリング(株)]	た なか さち と 田 中 祐 人 (JFEエンジニアリング(株) 鋼構造本部 沿岸鉄構事業部 主幹) 4名
visiMax mobile 開発チーム [(株)竹中工務店]	おお いし じゅん 大 石 潤 (株)竹中工務店 技術研究所 新生産システム部門 情報技術G主任研究員) 3名
浮体式洋上風力発電(ハイブリッ ドスパー型)実証プロジェクトチ ーム [戸田建設(株)、国立大学法人京都 大学、(株)日立製作所、芙蓉海洋開 発(株)、(独)海上技術安全研究所]	こ ばやし おさむ 小 林 修 (戸田建設(株) 価値創造推進室 開発センター エネルギーユニット 部長) 42名

○ インドネシア・カレバダム建設プロジェクトチーム

[鹿島建設(株)、PT PP (Persero) Tbk]

代表者 ^{なか}中 ^{じま}島 ^{けん}健 ^{いち}一 (鹿島建設(株) 海外土木支店 土木部 部長)

メンバー 22名 (鹿島建設(株)20名、PT PP (Persero) Tbk 2名)

本件は、インドネシア・スラウェシ島のニッケル精錬所への電力供給を目的とした水力発電用ダムの工事に関するプロジェクトである。厳しい地理的・気候条件に加え、難しい地域雇用環境の中で、大幅に工期を短縮して完工した。

工期短縮要求に対しては、大幅な工法変更等で対応し、RCC工法の見直し、導水鉄管工事の見直し、資機材揚重設備の見直し、コンクリート供給能力の見直し、上下流連絡トンネルの追加等を行った。また、同地は僻地であり、積卸港から陸路で資機材を運搬したが、道路崩壊やストライキに対しては、調達方式や工程の柔軟な変更で対処した。さらに、少ない熟練工の確保やストライキへの対応等、地域雇用問題をも粘り強い対話と協議で克服し、6ヶ月の工期短縮を実現した。また、現地には強力な請負業者がおらず、直備体制をとり、意欲ある作業員に教育を行い、技術移転を実施し、品質基準を遵守して完工することができた。さらに、安全教育を徹底し、死亡事故ゼロで竣工し、発注元から感謝状を受け取った。

完工後は9万kWの電気を精錬所に供給し、ニッケル増産にも繋がり、地域経済の繁栄に貢献しており、国際協力分野での表彰に値する。



カレバダム全景



ダム堤体コンクリート打設状況



洪水吐（こうずいばき）施工状況



発電所施工状況

○ インドネシア・PAITON III プロジェクトチーム

[三菱日立パワーシステムズ(株)、三井物産(株)、東京電力(株)、東亜建設工業(株)]

代表者 酒井雄一郎 (三菱日立パワーシステムズ(株) エンジニアリング
本部建設統括部 長崎プラント建設部 工事計画課 課長)

メンバー 135名 (三菱日立パワーシステムズ(株)83名、三井物産(株)26名、
東京電力(株)14名、東亜建設工業(株)12名)

本件は、インドネシアにおける超臨界圧石炭焚き発電プラントの建設・運営に関するプロジェクトである。

本プラントは、我が国で培われた超臨界圧石炭焚き発電プラントの技術をベースとしておりインドネシア初の超臨界圧石炭焚き発電プラントである。自国で産出される亜瀝青炭を専焼する超臨界圧ボイラとタンデムコンパウンドとしては最大級の超臨界圧蒸気タービンから構成され、出力は815MWである。

本件は、機器供給を担当する三菱重工(株)、現地据付を担当する三井物産(株)、土木建設工事を担当する東亜建設工業(株)から構成されるコンソーシアムが EPC 請負者として建設、納入し、JBIC や本邦銀行が融資の大半を受持ち、顧客である Paiton Energy 社側では株式の大半を保有する三井物産(株)、東京電力(株)が発注業務を担当するというプロジェクトの運営管理・技術・融資を日本の企業が主導した案件である。既に商業運転を開始し、高い稼働率を記録してジャワ電力系統での最高の実績を出しており、インドネシア経済の発展に貢献し、インドネシア政府より高い評価を得ている。以上より、本件は国際協力分野での表彰に値する。



ボイラ



蒸気タービン

○ サウジアラビア王国 原油井戸元設備改修改善提案プロジェクトチーム
 [東洋エンジニアリング(株)]

代表者 ^お ^{はら} ^{すすむ} 小 原 進 (資源エネルギー事業本部
 資源エネルギープロジェクト本部 本部長代行)

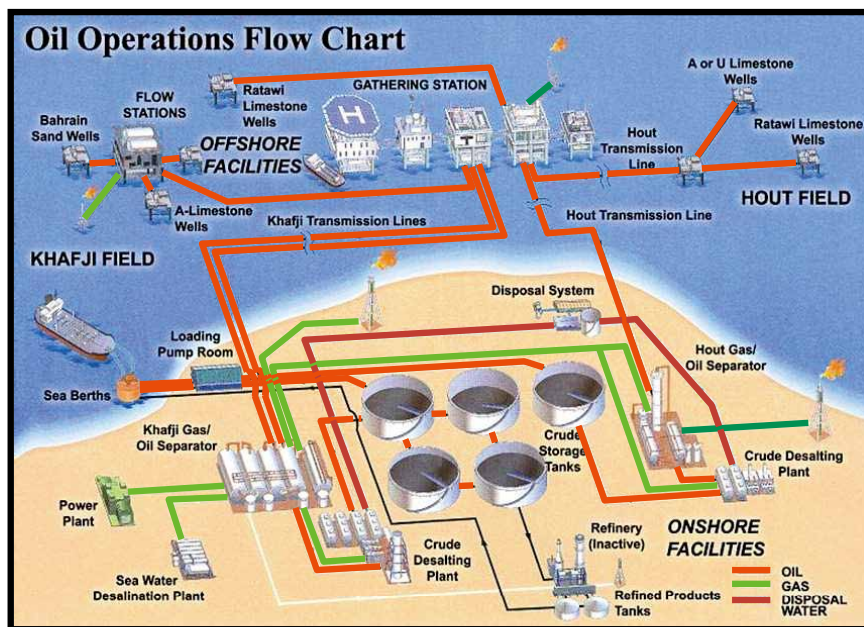
メンバー 28 名 (東洋エンジニアリング(株))

本件は、サウジアラビアのカフジ油田に対する改修改善提案に関するプロジェクトである。カフジ油田は、1960 年に発見され、日量 35 万バレルで、Al-Khafji Joint Operation (KJO) によって運営され、我が国にも大量の原油を輸出している。

本プロジェクトは KJO と技術役務提供契約を締結し、2002 年から 2013 年まで、同油田の既設設備の改修提案、新規設備の概念設計、入札支援等のエンジニアリング業務を実施した 30 億円規模の事業である。

長期の技術役務提供を通じての技術移転で、KJO の技術者や設備のレベルアップがなされ、社内基準も統一された。この改修事業の結果、同油田は半世紀に亘り日量 35 万バレルを維持してサウジアラビア・クエート両国の経済発展に貢献するとともに、生産量の 1/3 にあたる日量 10 万バレルを日本に送り、我が国の国益にも貢献している。KJO からその技術役務の提供に対して高い評価を受け感謝状を受領している。

以上より、長年にわたる日本のエンジニアリング力による成果が本改善事業に結びつき、新たな国際協力案件に繋がる可能性が大であるので、国際協力分野での表彰に値する。



施設概要



感謝状および感謝状授与式

○ パプアニューギニア LNG プロジェクトチーム

[千代田化工建設(株)、日揮(株)]

代表者 藤 澤 行 (千代田化工建設(株)海外ガス・LNG 事業本部 PNG チーム
Project Director)

メンバー 493 名 (千代田化工建設(株)259 名、日揮(株)234 名)

本件は、パプアニューギニアに初めて建設した 345 万トン/年×2 系列の LNG プラントのプロジェクトで、千代田化工建設(株)と日揮(株)が初めて JV を組んで設計・施工を行ったものである。本プラントの完成により、生産される LNG は、日本や中国・台湾に長期的に供給される安定したエネルギーとして貢献している。

安全教育を徹底し、2 年以上連続無事故無災害を達成するとともに、高度医療設備を充実させて作業員の健康維持に注力した。また、現地で 2,400 名の雇用を創出し、教育・指導を行い、技術移転を実施した。特に 9 名の技術者については、設計・調達・建設の教育を行い、将来の同国での石油・天然ガス産業を担う人材に育成した。さらに、本プラントの施工・運転により地元経済も活況を呈している。

本件は、千代田化工建設(株)と日揮(株)の JV プロジェクトの実績となり、同種のプロジェクト受注への発展が期待でき、国際協力分野での表彰に値する。

PNG LNG 生産プラント 第 1 系列全景写真



PNG LNG プロジェクト全景写真

全長 2.4km の出荷設備と PNG LNG プロジェクト全体

○ ミャンマー連邦共和国 シェゴンダイン高架橋 建設プロジェクトチーム
[JFE エンジニアリング(株)]

代表者 ^み三 ^わ輪 ^{やす}恭 ^{ひさ}久 (JFE エンジニアリング(株) 鉄構造本部 橋梁事業部
海外プロジェクト部)

メンバー 15名 (JFE エンジニアリング(株))

本件は、ヤンゴン市街地での初の高架橋工事に関するプロジェクトである。

ミャンマーでは民主化以降の激増する交通量に対応するため、ヤンゴン市内の混雑する交差点に高架橋を建設し、交通渋滞の緩和をめざした。本架橋地点の複雑な道路線形への対応、工期短縮の要求を同時に満足させるため、当初コンクリート橋で計画されていた高架橋を鋼橋に変更することを提案し、施工を行った。結果として、当初2年と考えられていた工期を短縮し、1年2ヶ月で工事を完了させることに成功した。設計業務では、ミャンマーに明確な基準がないことから、基準自体を提案して進めることが求められ、また、現地施工では、市街地特有の通行規制が必要であったこと、作業の大部分が夜間での施工であったことなど、厳しい環境にもかかわらず、工期を約半分に短縮して完工させたことは、高架橋の品質の高さと併せ、ミャンマー政府関係者から高い評価を得た。

同社は、15年以上にわたってミャンマーの橋梁建設分野への技術協力を行っており、技術移転と人材育成を実施してミャンマーとの協調関係を構築し、2014年4月には同国建設省との合弁会社を設立するに至った。

以上の理由により、本件は国際協力として表彰に値する。



建設中の状況



完成の状態



高架橋の平面線形と克服した技術的な課題

○ アラブ首長国連邦アブダビ首長国 GASCO IGD プロジェクトチーム

[日揮㈱]

代表者 小林 重夫 (日揮㈱ 第1プロジェクト本部 本部長室
執行役員)

メンバー 153名 (日揮㈱)

本件は、世界最大級のガス処理プラントの建設に関するプロジェクトである。

同国の油田から産出される随伴ガスを精製して、国内向け発電用ガス、NGL・LPGを採取するプラントをアブダビ国営石油会社傘下のガスコ社から受注し、イタリアのTECNIMONT社とJVを組んで、ガス処理設備や硫黄回収設備の設計・調達・建設を、保有する技術力を最大限に発揮して遂行しトラブルなく納期内に完工した。

アブダビでの石油・石油化学プラント建設では、従来では多くの企業が苦戦し納期を確保できなかった。同社は、顧客との信頼関係を醸成しつつ、JVパートナーのTECNIMONT社をリードしながら、同社保有の技術力を最大限に用いて、世界最大級の硫黄回収設備を含む巨大天然ガス処理設備の高品質を達成し納期を確保した。また、工事安全面では、IIF(無事故無災害)安全運動の下、2万人を超える作業員の意識を一つに纏める卓越した工事遂行能力を発揮して、関係者全員が高い安全意識をもって工事遂行に当たり、1億時間連続無事故記録を達成した。

本件はわが国のエンジニアリング産業の技術力・管理手法の向上に貢献したものであり、エンジニアリング振興として表彰に値する。



IIF(無事故無災害)運動



一億時間連続無事故記録達成

○ 扇島工場 TL22 LNG 地下式貯槽建設プロジェクトチーム

[東京ガス(株)、清水建設(株)、(株)IHI、IHIプラント建設(株)]

代表者 堤 洋 一 (東京ガス・エンジニアリング(株) 海外事業本部 海外プロジェクト部 部長)

メンバー 133名 (東京ガス(株)15名、清水建設(株)50名、(株)IHI 43名、IHIプラント建設(株)25名)

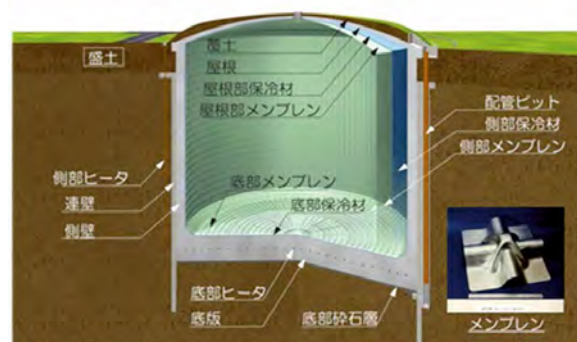
本件は、世界最大の 25 万 kl の LNG 地下タンクを東京ガス(株)扇島工場に建設したプロジェクトである。

増設工事であるために用地の制約があり 20 万 kl の既設タンクと同じ内径のまま世界最大の容量を確保した。さまざまな工夫がなされており、一つは覆土式の採用により、既設 20 万 kl タンクと同じ掘削深度として掘削土量を削減するとともに屋根部の RC(鉄筋コンクリート)の厚さを 20%低減してコストを抑制した。もう一つは底部ヒーターを底版中央に配置することにより、底版に作用する温度応力を低減させるとともに底版側面に水圧を作用させ、底版の厚さの低減 (18%)・鉄筋量の低減 (50%) によりコストダウンを実現した。さらにタンクの大深度化に伴い、タンク深部の保冷材には高圧縮強度が要求されるため、高圧縮強度に対応できる地下 LNG タンク用保冷材を開発・適用した。

以上により、世界最大の LNG 地下タンクを 11 ヶ月の工期短縮と大幅なコストダウンにより完成させたことは、わが国エンジニアリング産業の技術力、管理手法の向上に貢献したものであり、エンジニアリング振興として表彰に値する。



LNG 地下タンク外観 (覆土式)



LNG 地下タンク構造



LNG 地下タンク内部



LNG 地下タンク外観 (覆土式)

○ 白子川地下調節池工事チーム

[東京都建設局、大成建設㈱、佐藤工業㈱、㈱銭高組]

代表者 ^{わた なべ} 渡 辺 ^{おきむ} 修 (東京都 建設局 第四建設事務所 工事第二課長)

代表者 ^{と ばし} 土 橋 ^{いさお} 功 (大成建設㈱ 社長室 経営企画部 部長)

メンバー 21名 (東京都 5名、大成建設㈱10名、佐藤工業㈱3名、㈱銭高組 3名)

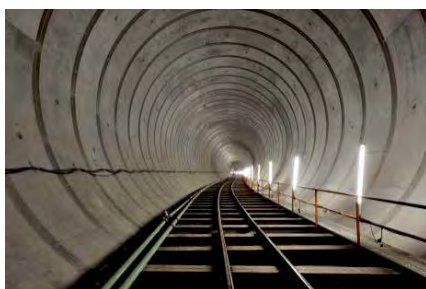
本件は、台風や集中豪雨等によって発生する洪水を一時的に貯留するトンネル形式の地下調節池を都市部に建設する工事に関するものである。次のような大深度のシールド掘進と立坑構築に関する施工技術の開発を行い工事に適用した。

①地下調節池トンネルとなるため、トンネル底面で42m程度の内水圧に抵抗できる覆工構造が必要で、リング間に^{かんごうつぎて}嵌合継手構造を設けたコンクリート一体型鋼製セグメント(合成セグメント)を開発して適用した。

②最大30cm程度の礫を含む砂礫層を延長1km以上にわたって掘進するために必要な対応技術を確認した。(シールド機、泥水輸送設備、泥水処理設備等)

③到達立坑と近接する住宅との離隔距離が約2mという厳しい条件下において、周辺地盤への影響を最小限にできるニューマチックケーソン施工技術と、立坑内に水を張って安全かつ確実にシールド機が到達できる水中到達工法を確認した。

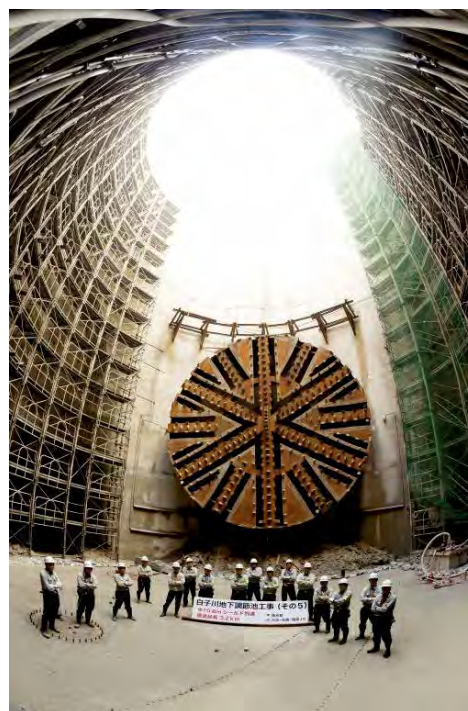
本技術は、今後の外かく環状道路、リニア中央新幹線等の工事にも十分適用可能な技術である。本件のような都市部における大断面・大深度シールド工事や立坑工事は技術的課題を多く抱えており、それら課題を高度な技術で克服し、先駆的な役割を果たしたことはエンジニアリング振興として表彰に値する。



地下調節池トンネル
(嵌合方式合成セグメント)



水中到達状況確認



到達時のJVメンバー



近接する住居



深さ47mの到達立坑

○ ハーフプレキャスト工法を用いた鉄道ラーメン高架橋の構築方法の開発チーム
[東急建設(株)、川田建設(株)]

代表者 服部尚道 (東急建設(株) 土木本部 土木技術設計部
技術グループ 担当課長)

メンバー 18名 (東急建設(株)9名、川田建設(株)9名)

本件は、鉄道営業線直上における鉄道高架橋の構築技術の開発に関するもので、京急蒲田駅付近の連続立体交差事業等に適用されたものである。

本工法は、鉄道の高架化を対象に、従来の仮線工法の課題である用地取得難航による事業の停滞・遅延の解消を目的として、現場打ち施工による直上工法に替えて、工場で製作した柱・梁・スラブのハーフプレキャスト部材を、鉄道営業線直上で、鉄道の安全性確保等に配慮して現地で組み立て、現場打ちコンクリートで順次一体化させて高架橋を建設する工法である。構造的には耐震性を立証した基礎との接合部を有する柱、プレストレスによるそり制御を行った梁・スラブに特徴がある。

京急蒲田駅付近の連続立体交差事業では、場所打ち直上工法と比べて、工期は約50%短縮、工費は10%削減するとともに、線路上空の支保工を不要として安全性リスクを最小限にし、夜間工事騒音に対して近隣住民からの苦情ゼロなど顧客から評価された。本工法は、連続立体交差事業の効率的な推進に有用であるとして、土木学会賞、国土技術開発賞、日本コンクリート工学会賞を受賞している。

本件は、都市部の「開かずの踏切」の抜本対策として今後の需要増が期待でき、エンジニアリング振興として表彰するに値する。



○ インド・JSW CDQ プロジェクトチーム

[新日鉄住金エンジニアリング(株)、NS プラント設計(株)、北京中日聯節能環保工程技術有限公司 (略称：BE3)、NIPPON STEEL & SUMIKIN ENGINEERING INDIA PRIVATE LIMITED (略称：NSEI)]

代表者 横手 孝輔 (新日鉄住金エンジニアリング(株) 製鉄プラントエンジニアリング第三部 商品技術室 原料処理・コークス技術グループ グループ長)

メンバー49名 (新日鉄住金エンジニアリング(株)28名、NS プラント設計(株)17名、北京日中聯節能環保工程技術有限公司1名、NSEI 3名)

本件は、製鉄所で使用するコークス乾式消火設備 (CDQ) のインドで実施した一連の建設及びそれに伴う環境貢献のうち、特に直近の JSW Steel 社向け 4 基に関するものである。

CDQ はコークス炉で製造された赤熱コークスを不活性ガスにて乾式消火し、その顕熱を蒸気で回収し発電する設備である。本プロジェクトでは、熱回収により 500GWh/年の電力を生産し、CO₂量 34.5 万トン/年を削減している。また、従来法である湿式消火設備に較べて煤塵排出量が大幅に低減される。

同社は、インドへの CDQ 導入を図るため、NEDO モデル事業を足掛かりにインド CDQ 事業に進出し、本プロジェクトでは、低負荷操業時でも蒸気発生量を増やす改良を加え、また 4 基の CDQ を同一仕様・同一レイアウトとしてコスト削減・工期短縮を図り、据付工事開始から 12.5 か月の短納期での稼働に成功した。

現在、8 基の CDQ をインドに供給しており、今後、インドの粗鋼生産量の大幅な増加に伴い CDQ を普及させることで、2020 年までに 7,350GWh/年の発電量と 500 万トン/年の CO₂削減を予定している。

以上より、本件は環境貢献分野での表彰に値する。



JSW 社向け CDQ 1号機完工

○ 水質保全システム「アクアトープ」開発チーム

[大成建設(株)、日本植生(株)]

代表者 ^たまき ^{ひろ} ^{のり} 瀧 寛 則 (大成建設(株) 環境本部 企画管理部 企画室 課長)

代表者 ^はやし ^{さとし} 林 聡 (株)日本植生グループ本社 事業推進部 岡山研究所 参事)

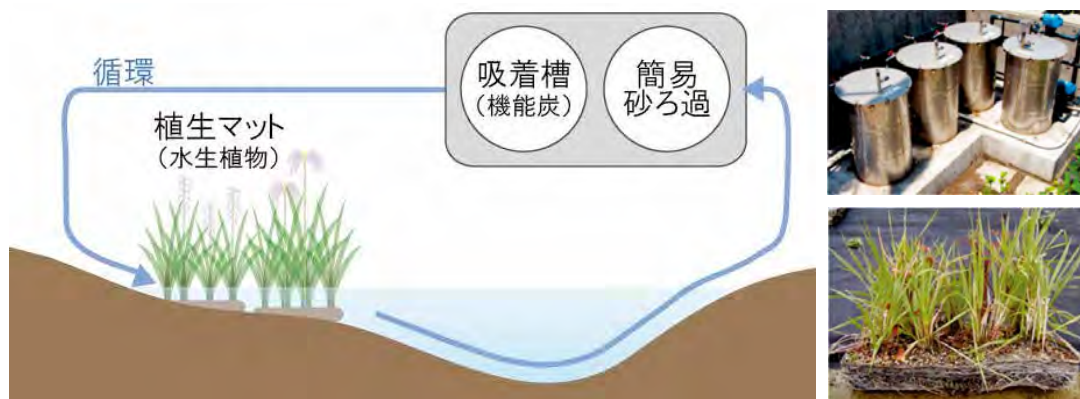
メンバー 8名 (大成建設(株)6名、(株)日本植生グループ本社 2名)

本件は、自然由来の原料から作製した吸着材を用いて栄養塩除去を行うことで、生態系に配慮しながら水質保全を図るシステムである。

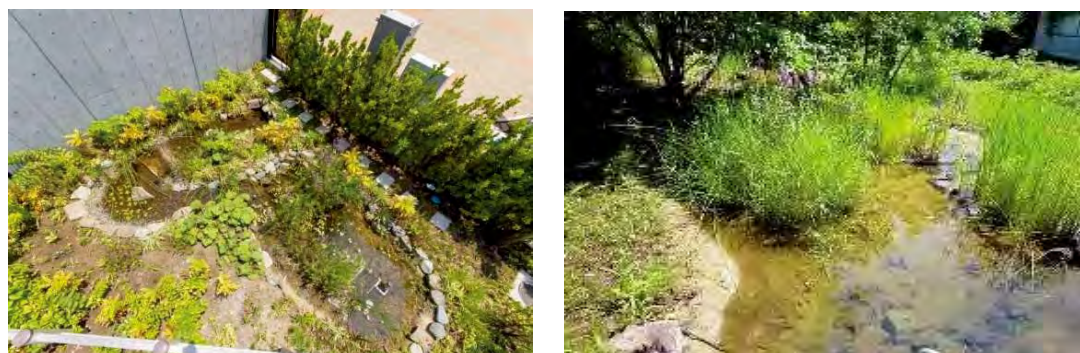
都市部では景観とともに生態系保全の観点から水辺空間の導入が推奨されている。しかし、閉鎖系人工池などの水辺は、水中の栄養塩により藻類が大量発生し、短期間のうちに汚濁するといった問題があった。従来は、殺藻剤等の化学薬品を用いた対策がとられていたが、生態系への影響が懸念されており、環境に配慮した水質保全技術が望まれる。本件は、これまで廃棄されていたコーヒー抽出後のコーヒー豆を利用して吸着能力の高い吸着材（以下“機能炭”）を開発するとともに、機能炭を充填した吸着槽と機能炭を混合した植生マットによって、水辺の富栄養化、水質の劣化を防止するシステム開発に成功した。また、使用後の機能炭は周辺緑地に散布することで肥料成分を含む土壌改良材として活用できる等、資源循環も成し得ている。

武蔵野大学有明キャンパスなどに導入して良好な効果を得ており、その成果に対して 2013年に「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞」を受賞している。

以上より、本件は環境貢献分野で表彰するに値する。



システム概念図 (右上：吸着槽+簡易砂ろ過、右下：植生マット)



アクアトープを導入したビオトープ池の様子

○ 生態系に配慮した大規模緑地空間創造チーム

【㈱大林組、南海電気鉄道㈱】

代表者 ^{あか}赤 ^{がわ}川 ^{ひろ}宏 ^{ゆき}幸（㈱大林組 技術本部 技術研究所 環境技術研究部
主任研究員）

メンバー 6名（㈱大林組 4名、南海電気鉄道㈱2名）

本件は、大阪市の商業施設なんばパークスの屋上面積の約半分に当たる約 5,300 m²を緑化して、都市部のヒートアイランド現象の緩和や生態系保全と、緑地の付加価値向上を両立させたプロジェクトである。

地域の環境改善に大きく貢献し、緑化によって人々と生き物に憩いの場を与え、多様な世代が集まる空間に仕上げたことが、商用施設の顧客層拡大や売上高増加という経済効果にもつながっている。

大阪の風土に適した樹種や、生き物の生育拠点となる水生植物など、高木・中低木・草花約 70,000 株を選定して植え付けたほか、生態系保全のため無農薬による維持管理にも心掛けた。その結果、鳥類 33 種、昆虫類 152 種という豊富な生物相が形成された。また、絶滅危惧種であるコサメビタキやハヤブサの飛来も確認できた。樹木の年間の CO₂ 吸収量の測定も行い、1 年間に約 4 トンになった。また、ヒートアイランド防止効果として、緑化部はコンクリート部に比べて約 15℃の温度低下となり、屋上の断熱効果によって年間冷房熱量は約 4.5%削減された。

以上の理由により、本件は、環境貢献分野で表彰するに値する。



○ パラビエータ開発・展開チーム

[清水建設㈱、みのる産業㈱]

代表者 ^{なか}中 ^{むら}村 ^{けん}健 ^じ二 (清水建設㈱ 技術研究所 高度空間技術センター
センター長)

メンバー 7名 (清水建設㈱5名、みのる産業㈱2名)

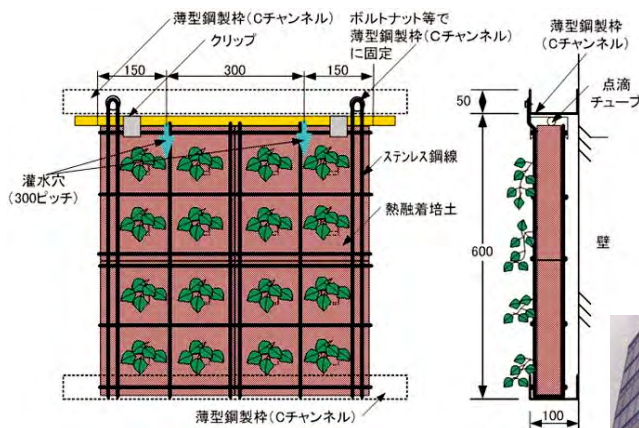
本件は、建物の壁面緑化に関する技術である。

大都市圏では、屋上・壁面緑化が行政による義務付けや誘導により普及促進されており、それに対応するために独自の壁面緑化技術を開発した。

本技術は、新たに開発した熱融着培土「エクセルソイル」を60×60cm、厚さ5cmの小型ユニットにしたものを、施工する壁面に予め取り付け付けた壁面受け薄型鋼板枠にボルトナットで固定するものである。エクセルソイルは軽量土壌と熱融着繊維を混合し加熱して固化したスポンジ状の培土である。本繊維は、融点の異なる2種類の成分から成り、融点の低い靱部が土壌と融着し、融点の高い芯部が土壌を固定する。そのため、土壌の流出・飛散が無く、保水・排水・通気性に優れる。

従来の工法に比べて軽量で、耐風性、耐久性にも優れ、コスト競争力のある技術である。また多様な植物を植えることができ、ヒートアイランド対策に効果があり、外部より建物内部へ流入する熱量も削減して省エネにも貢献する。自動車等の騒音を低減する吸音効果もある。

既に150件以上の施工実績を有しており、環境貢献として表彰するに値する。



緑化ユニットの構成図



施工事例「とくぎんトモニプラザ」

○ 自動ラック倉庫制震システム開発チーム

[大成建設㈱]

代表者 ^{たか}高 ^き木 ^{まさ}政 ^{よし}美 （大成建設㈱ 技術センター建築技術研究所防災研究室次長）

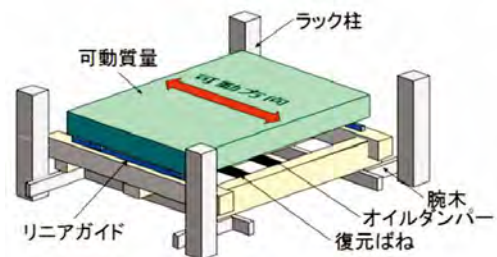
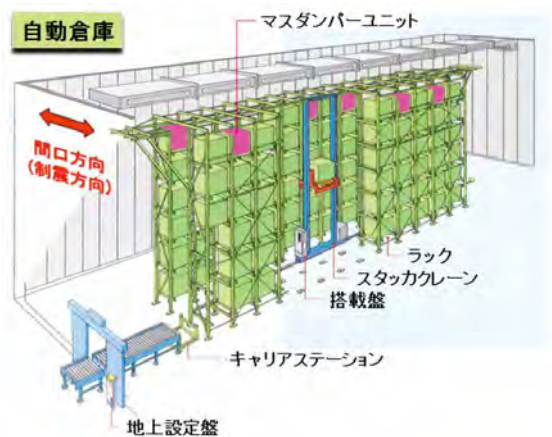
メンバー 7名（大成建設㈱）

本件は、自動ラック倉庫の制震システムに関するものである。

東日本大震災では、自動ラック倉庫において積載荷物の荷崩れ・落下による荷物の入出荷が停止する被害が多発したことに對し、BCP（事業継続計画）対応で開発したシステムである。

本装置は、最上段ラックにマスダンパーユニットを必要台数設置し、地震によるラック構造物の揺れと荷滑りを抑えることで、積載された荷物の荷崩れ・落下を最大限防止する。マスダンパーユニットは最上段ラック内に納まり、倉庫の既設搬送設備を利用して設置位置まで搬送でき、またシステム重量を最大積載重量以下に抑えてラックの補強が不要であることにより、新設、既設を問わず自動ラック倉庫への設置を容易にし、コスト低減を図っている。2012年12月の販売開始後、新設倉庫への設置も含め4案件を完工し、さらに複数の受注も抱えており、普及拡大が期待できる装置である。

簡単な機構で、既設搬送設備を利用して倉庫の最上段ラックに簡便に設置できる工夫はキラリと光る技術と言え、本件は、中小規模プロジェクト枠で表彰するに値する。



マスダンパー設置状況



○ 新東京ライン建設第四期工事グループ

[日鉄住金パイプライン&エンジニアリング㈱]

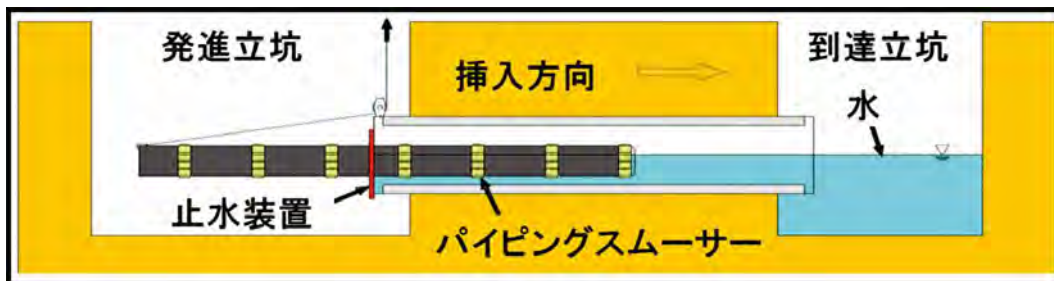
代表者 後藤 明彦 (日鉄住金パイプライン&エンジニアリング㈱ 東日本支社 プロジェクト工事部第一プロジェクト工事室長)

メンバー 12名 (日鉄住金パイプライン&エンジニアリング㈱)

本件は、推進管内配管工事において浮遊曳航工法 (FT 工法) による 2 条配管を日本で初めて実施した工事に関するものである。

FT 工法は、従来のインバートを打設し、鋼製ローラ台車を用いる工法に比べ、安全面・設備面・工程面において施工性が良いことから本工事での採用が決定された。FT 工法は、これまでに 1 条配管での実績はあるものの、2 条配管での実績がなく、本工事で初めて適用した。先端肉厚管の浮力不足については先端フロートによる浮力の確保、排水後の配管位置保持については専用受け架台の開発、2 条配管用止水装置の開発による水位調整等により、技術上の課題を克服した。本工法は、従来工法に比べて安全性・品質・施工性に優れるとともに、コストも約 1 割削減されるため、今後の本工法の需要拡大が期待される。

2 条 FT 工法はきらりと光る技術と言え、中小規模プロジェクトとしての表彰に値する。



FT 工法概要図



本管押込み状況



推進管内浮遊状況



排水後本管設置状況

○ タービン統合化及び既設 5 号ボイラ燃焼改善プロジェクトチーム

[三菱日立パワーシステムズ(株)、三菱日立パワーシステムズエンジニアリング(株)、
 ジャパン・パワー・イニシアティヴ(株)、JEN ホールディングス(株)、防府エネルギー
 サービス(株)]

代表者 関 口 慎 一 (三菱日立パワーシステムズ(株) ボイラ技術本部
 ボイラ技術部ボイラ設計二課 主席技師)

メンバー18名 (三菱日立パワーシステムズ(株)7名、三菱日立パワーシステムズ
 エンジニアリング(株)8名、ジャパン・パワー・イニシアティヴ(株)1名、
 JEN ホールディングス(株)1名、防府エネルギーサービス(株)1名)

本件は、新たに開発した M-PM バーナを実機ボイラに適用することで低 NO_x と
 低灰中未燃分を実現しボイラ高効率化を達成すると共に、従来 3 基あった旧型ター
 ビンを新型 1 基に集約してタービンの高効率化を達成したプロジェクトである。

今回新たに開発した M-PM バーナは、ノズル前面に広く均一な着火面を設けて良
 好な着火性を保持し、石炭火炎は最適位置・最適量で二次空気と混合し外炎部での
 酸素濃度を最適化することで低 NO_x を実現した。本プロジェクトでは適用前
 NO_x と同一レベルにて NO_x と反比例で増加する灰中未燃分を 25% 低減した。

また、タービンの統合化により、同一蒸気源にて最大発電出力を従来 1.2 倍の
 27.1MW に向上させている。

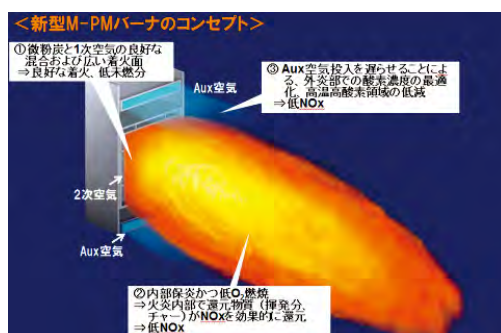
同社は、昭和 50 年からシステマティックにバーナを開発しており、その長年に
 亘る継続的な開発が本バーナにきらりと光る技術として反映されており、本プラント
 への新型バーナ初適用の成功は、今後の環境改善に寄与し、国内外のプラントへ
 の展開が期待でき、中小規模プロジェクトとして表彰に値する。



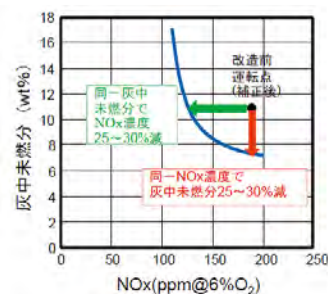
ボイラ外景



改造後の燃焼状態



M-PM バーナ



○ 中部大学キャンパススマートグリッド導入プロジェクトチーム

[清水建設(株)、学校法人中部大学、富士電機(株)、パナソニック(株)、東邦ガスエンジニアリング(株)、高砂熱学工業(株)]

代表者 かわむら みつぐ (清水建設(株) 環境・エネルギーソリューション室 室長)

メンバー 31名 (清水建設(株)18名、学校法人中部大学9名、富士電機(株)1名、パナソニック(株)1名、東邦ガスエンジニアリング(株)1名、高砂熱学工業(株)1名)

本件は、大学キャンパスにスマートグリッドを導入し、複数の建物を統合制御した案件である。

本技術は、①大学の実験棟を含む5施設を多棟制御したこと、②教職員、学生も参加して、人による節電ナビゲーションを導入したこと、③電力消費の約3割を占める実験装置の稼働を実験スケジューリングシステムによってピークシフトしたこと、に新規性があり、わが国で初めての技術である。特許も4件出願し、マスコミの報道も数多く、他地域からの本システム導入に向けた見学者も多い。

本システムを導入したことによって、電力消費のピークを24.3%削減、省エネ効果については15.7%を達成し、受電量を増やさないで、大学の機能を発揮できるようにした。これらの節電効果を学内LANに表示して見える化し、教職員、学生の省エネ意識を高めている。

今後、中部大学では大学全体に本システムが展開される予定で、また地域防災拠点としても期待されており、中小規模プロジェクト枠での表彰に値する。



中部大学春日井キャンパス全景



スマートグリッドモニターを見る学生



既存を含む多棟のスマート制御 (生命健康科学部)



システムの導入効果

○ 都市における耐火木造建築物の実施プロジェクトチーム

【榊竹中工務店】

代表者 福本 晃 治 (榊竹中工務店 大阪支店設計部 構造担当課長)

メンバー 19名 (榊竹中工務店)

本件は、「都市の中の森」をコンセプトとした、国内初の耐火集成材と鉄筋コンクリート（RC）造との混合構造による3階建の耐火木造建築に関するものである。耐火集成材については平成21年度のエンジニアリング奨励特別賞を受賞しており、今回、初めて実際の建築に適用できた。

独自に開発した耐火集成材（燃エンウッド®）とRC構造を組合せた混合構造を採用し、安全性と開放的空間性を両立させた。津波を想定して1階部分はRC造とし、2、3階の床も、遮音性や地震時水平力伝達を考慮しRC造とした。更に、火災時の安全性を実験的に検証することで、多様な木質内装も実現した。

燃エンウッドは、「心材（構造材）」、「燃え止まり層」、「燃え代層」の3層構成で、1時間耐火の大臣認定を取得した柱、梁の耐火集成材である。都市部では耐火性等が求められ、大規模建築への木材利用が困難だったが、燃エンウッドの開発により、木の美しさを表現しながら耐火建築物を実現させることが可能となった。

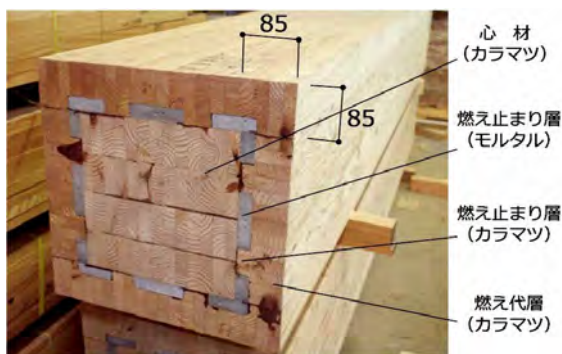
政府は木造建築を推奨しており、燃エンウッドとRC造を組合せた合成構造はきらりと光る技術で、かつ時宜に合った技術であり、中小規模プロジェクト枠として評価するに値する。



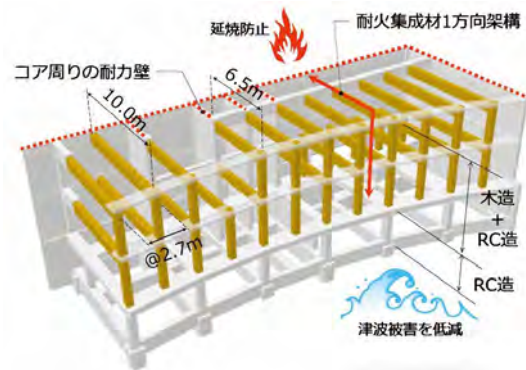
建物外観(大阪木材仲買会館)



多様な木質材料を用いた内装



耐火集成材柱断面



建築構造パース

○ 微小発破による解体工法「マイクロブラステイング工法」開発チーム

[鹿島建設(株)、(独)産業技術総合研究所、カヤク・ジャパン(株)]

代表者 柳 ^{やなぎ} 田 ^だ 克 ^{かつ} 巳 ^み (鹿島建設(株) 技術研究所建築生産グループ 上席研究員)

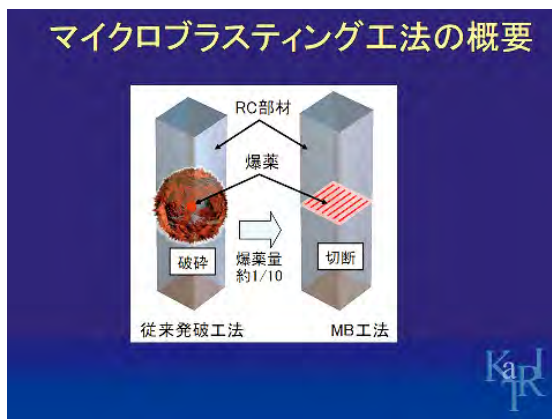
メンバー 15名 (鹿島建設(株)13名、(独)産業技術総合研究所 1名、
カヤク・ジャパン(株)1名)

本件は、都市部での建物解体工事において、周囲への騒音・振動を大幅に低減する工法に関するものである。

都市部の建替え工事では、基礎梁や造成杭などの地下の大型鉄筋コンクリート部材を解体する事例が増えている。大型基礎の解体はブレーカーによる打撃破砕が一般的であるが、騒音・振動・粉塵の発生などが問題となっていた。

このため、同社は、都市部の建築解体工事に対する発破技術の適用方法の開発を目的に、使用する爆薬量を最小限に抑えた局所的な発破工法であるマイクロブラステイング工法を開発した。同工法は、騒音・振動負荷の軽減、CO₂発生量の低減、地下解体工事の効率化、破片飛散の恐れが無い安全性確保などの特徴を有している。都市部での発破技術の適用という着眼は斬新であり、微小な発破によって部材をブロックに切断する工法はきらりと光る技術と言える。

本工法は、既に東京都内で 20 件弱の実績があり、都市部の狭隘な場所での適用に優れており、環境に優しく、安全性も高いことから、今後の需要は増大するものと予想される。以上より、本件は中小規模プロジェクト枠として表彰するに値する。



○ 松久保 徹 郎

大成建設(株) 国際支店土木部 海外事業所

氏は、在外期間約 35 年で、その間、一貫して海外建設工事に従事され、特にナイジェリア、クエート、インド、ミャンマーなどの環境の厳しい地域での国家的プロジェクトに従事し、持てる技術力を発揮して各プロジェクトを成功させた。

ナイジェリア・カドナ精油所建設工事では、現地技術者の教育・育成にも貢献し、インド・ナバシバ港新設工事では、難工事を克服するとともに、顧客と交渉して工事採算を回復させ、ミャンマー・ヤンゴン国際空港拡張工事では、暴動による工事中断後、工事再開交渉を纏めて完工に結び付けた。

また、2004 年から 10 年間は、「ボスポラス海峡横断鉄道建設工事」において工事全体を統括し、発注者等と協力して工事を遂行し、高潮流下での大水深沈埋工事、海底下でのシールドトンネルと沈埋函の接合等、難工事を完成させた。さらに、遺跡調査による大幅な工程遅れを克服し、トルコ建国 90 周年記念日の 2013 年 10 月 29 日に鉄道開通を間に合わせ、トルコ共和国の経済発展にも大きく貢献した。

以上の理由により、国際協力分野での表彰に値する。



松久保氏



ナイジェリア・カドナ精油所



インド・ナバシバ港



ボスポラス海峡横断鉄道、最深沈埋函沈設



2013年10月29日、開通式

○ 三 浦 梧

鹿島建設(株) 技術研究所 主席研究員

氏は1979年3月に早稲田大学工学部電気工学科を卒業後、同年4月に鹿島建設(株)に入社し、それから30年余、技術研究所で、土木分野の無人化施工システム、情報化施工システム、各種計測技術及び非破壊検査技術、構造物モニタリング技術、施工機械の自動化技術の研究開発をリーダー的役割で行い、同社の技術開発、開発技術を適用した建設現場に大きく貢献してきた。

氏は、同社の研究開発を通じて、専門とする計測技術や施工機械の自動化技術において、社会やエンジニアリング産業に貢献してきた。計測・施工管理技術で特許を100件以上出願している。また、国内外で多くの論文発表があり、国際的にも活躍している。これらが評価され、岩の力学連合会、地盤工学会、土木学会等から表彰されている。2005年には京都大学より博士(工学)号を授与されている。

最近では、福島原子力発電所における高線量がれき自動搬送システムの開発を行い、現場に適用してがれき撤去作業において実績を上げている。

以上のように、学術研究を通じてエンジニアリング産業に貢献したことにより、エンジニアリング振興分野での表彰に値する。

がれき自動搬送システム



雲仙普賢岳での無人化施工状況



土木学会技術開発賞受賞(前列中央:三浦氏)

エンジニアリング奨励特別賞

○ EAGLE CO₂物理吸収プラントプロジェクトチーム

[電源開発(株)、千代田化工建設(株)]

代表者 ^{なか}中 ^{しずか}静 ^{やす}靖 ^{なお}直 (電源開発(株) 技術開発部 若松研究所 所長)

メンバー 20名 (電源開発(株)12名、千代田化工建設(株)8名)

本件は、革新的 CO₂回収型石炭ガス化技術開発 (EAGLE プロジェクト Step 3) における石炭ガス化プラントに設置した CO₂物理吸収プロセスに関するものである。

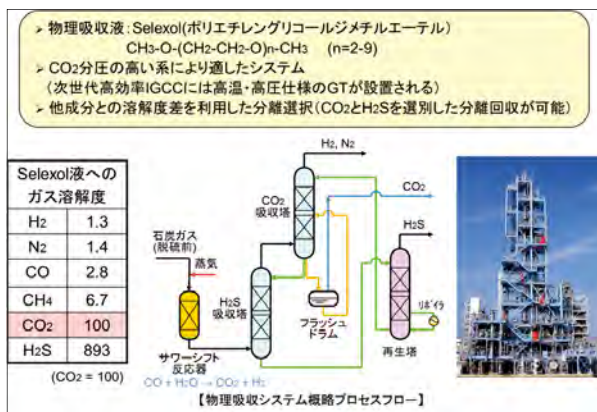
EAGLE プロジェクトは、石炭をガス化して IGCC (石炭ガス化複合発電システム) のような高効率発電を始め、化学原料ガス製造や水素製造等に利用可能な多目的石炭ガス化技術の開発を目的としており、純国産の酸素吹石炭ガス化技術として注目されている。本件は、その事業のうち 2010 年度から 2013 年度まで NEDO の支援を得て実施された Step 3 に関するものである。北九州市にある電源開発(株)敷地内で稼働中の EAGLE プラントを利用し、物理吸収法による CO₂回収技術開発において、試験設備の設計・製作・設置・試験運転を行い、実用化の目途を付けた。

開発した物理吸収法は高圧場での利用に適しており、その雰囲気下で使用される石炭ガス化には有用であり、Step2 で実証した化学吸収法に比べて 10%以上のエネルギー低減を達成した。

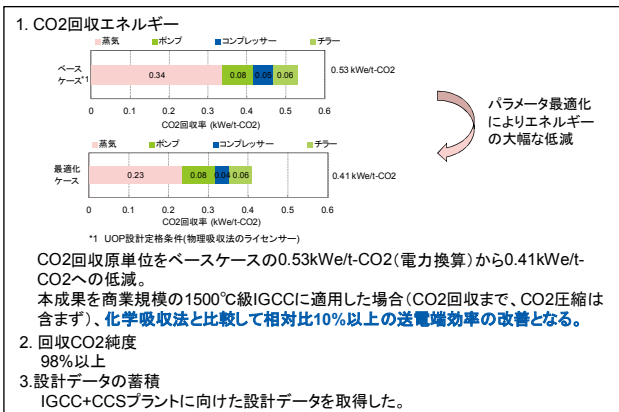
これらの成果は実証機である 166MW 級の大崎クールジェンプロジェクトに反映されることが期待されており、本件は奨励特別賞として表彰するに値する。



EAGLE プラント全景



CO₂物理吸収法の概要



研究開発成果

○ 省エネ環境配慮型施設建設プロジェクトチーム

【国際石油開発帝石(株)、NTT ファシリティーズ(株)、(株)大林組】

代表者 野村和男 (国際石油開発帝石(株) 国内事業本部 施設ユニット
シニアコーディネーター)

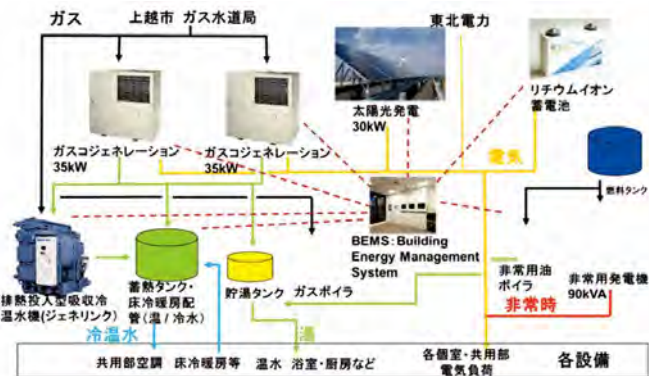
メンバー 21名 (国際石油開発帝石(株)9名、NTT ファシリティーズ(株)7名、
(株)大林組 5名)

本件は、省エネ・省資源の関係する様々な技術を適用し、その組み合わせの中から最適値を生み出して実用化に繋げようとしたプロジェクトである。

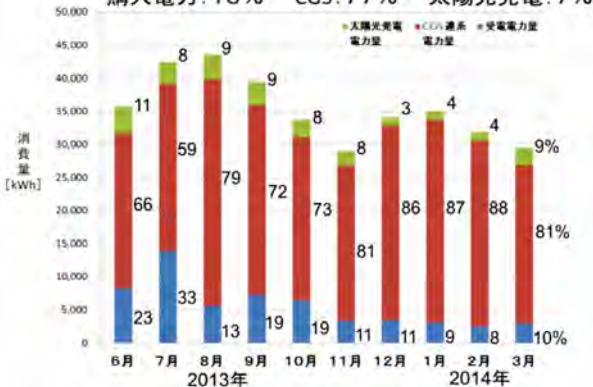
太陽光発電、天然ガス・コージェネレーション・システム、蓄電池、蓄熱システム、非常用発電機、自然換気システム等を同社の保有する実際の施設に適用して、ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS) によるコントロールによって、安心して安全なエネルギーを確保すると共に CO₂ の削減を達成した。

従来のシステムとの大きな違いは、天然ガスと再生可能エネルギーをベースにガスエンジンコージェネレーション、蓄電・蓄熱システムを組み合わせ、遠隔 BEMS により運転状況を監視し、必要に応じ現地に合う最適な運転のための調整を実施して CO₂ 削減を実証している点である。また沿岸部という地域性を考慮し、災害時の津波対策を加味するとともに、地域への施設公開を意図している。

既に実証は終了し、成果を学会発表等で公表するとともに、得られた成果を適用した事業展開に向けて活動を進めており、奨励特別賞として表彰するに値する。



2013年6月～2014年3月の期間実績
購入電力:16% CGS:77% 太陽光発電:7%



コスト評価(2013年6月～2014年2月)

種別	項目	東雲寮	ベースライン	差額
電気	契約電力(kW)	41	115	
	使用量(kWh)	84,381	506,830	
	電気料金(円)	1,352,000	9,438,000	▲8,086,000
ガス	使用量(m ³)	112,947	52,802	
	ガス料金(円)	7,466,476	4,622,432	2,844,044
合計(円)		8,818,476	14,060,432	▲5,241,956

○ 省エネシールド検討チーム

【株式会社大林組、立命館大学、三菱重工メカトロシステムズ株式会社】

代表者 ^{はなわ} 嶋 ^{もり} 守 ^{ゆき} 幸 (株式会社大林組 本社 土木本部 生産技術本部 本部長)

メンバー12名(株式会社大林組 8名、立命館大学 1名、三菱重工メカトロシステムズ株式会社 3名)

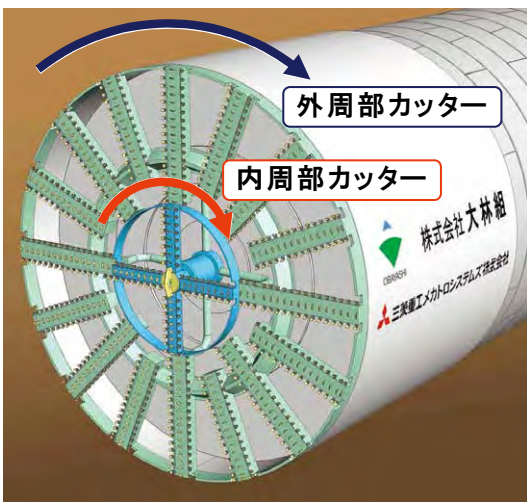
本件は、シールド機の省エネ化と掘進の効率化に関するものである。

シールド機の消費電力の約7割が cutter 部であり、最近、直径16mを超す大断面シールド機が多くなり、消費電力の削減と高効率掘進が課題となっていた。

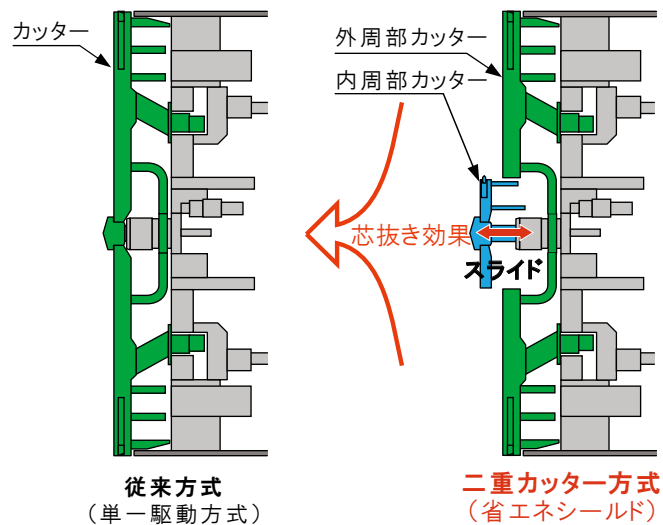
そこで、内周部の直径4m程度を外周部と別軸で回転させる二重 cutter 方式を採用し、外周部と内周部の周速度を同じにすることで取り込まれる土砂の流動性を最適化させ、シールド機全体の消費電力を30%低減すると同時に、掘進速度を25%向上させて、掘進稼働率の向上に世界で初めて成功した。

本件は、独自に開発した流動化解析技術で掘削土砂の流動性を解明することにより可能となったものであり、この他、cutterヘッド中心部の開口率が改善したことによる掘削土砂の取込率向上、内周部を前後可動構造にした芯抜き効果による高速掘進等の特徴がある。

本件は、既に技術開発は終了し、実工事への適用が決まり、現在製作段階にあり、奨励特別賞として表彰するに値する。



省エネシールド概要図



カッター部断面図

電力消費量(試算例)

		従来方式 (単一駆動方式)	二重カッター方式 (省エネシールド)
掘進速度(比率)		30mm/min (1.00)	37.5mm/min (1.25)
装備電力 (比率)	cutter系	4,850kw (1.00)	3,870kw (0.80)
	シールド機	6,460kw (1.00)	5,480kw (0.85)
電力消費量(比率)		21,169(千)kwh (1.00)	14,466(千)kwh (0.68)

○ 天然ガスの液体燃料化技術(JAPAN-GTL プロセス)実証研究プロジェクトチーム
 [(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、国際石油開発帝石(株)、JX 日鉱日石エネルギー(株)、石油資源開発(株)、コスモ石油(株)、新日鉄住金エンジニアリング(株)、千代田化工建設(株)]

代表者 片倉和人 ((独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油開発技術本部 GTL 事業推進チーム リーダー)

メンバー 47名 (JOGMEC8名、国際石油開発帝石(株)2名、JX 日鉱日石エネルギー(株)10名、石油資源開発(株)4名、コスモ石油(株)4名、新日鉄住金エンジニアリング(株)10名、千代田化工建設(株)9名)

本件は、JOGMEC を中心とする日本企業 7 社からなるコンソーシアムが開発した純国産の JAPAN-GTL (天然ガス液体燃料化) 技術に関するものである。

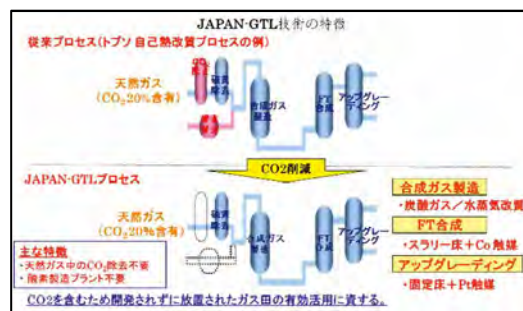
GTL プロセスは、合成ガス製造、FT 合成及びアップグレーディングから成り、コンソーシアム構成企業の技術をベースとし、先行する GTL 技術に比べ、CO₂ を合成ガス製造に利用する世界初の画期的な技術として完成させた。そのため、天然ガスの CO₂ 除去装置や O₂ 製造装置が不要なため建設費の削減が可能であると同時に CO₂ を多く含むガス田での利用が可能となる。本件は研究費総額 360 億円、出願特許数 1,679 件の純国産 GTL の研究開発プロジェクトであり、1998 年のベンチスケール実験から出発し、2012 年に日量 500 バレルの実証試験を完了した。現在は、トルクメニスタン、モザンビーク、カナダ等において、本 GTL プロセスの商業化に向けた検討を進めており、JOGMEC はトルクメニスタン国営ガス公社・石油ガス産業鉱物資源省と GTL を含む天然ガス有効利用に向けた技術協力に関する MOU を締結し、モザンビーク炭化水素公社等とスタディを開始している。日本企業の上流権益確保や日本のエネルギー安全保障に貢献する技術として早期の実用化が望まれている。実用化が期待される先駆的技術として、奨励特別賞で表彰するに値する。



トルクメニスタンとのMOU調印式
(2013年9月11日@首相官邸)



(立会人左から) ベルディムハメドフ入駐領、安倍内閣総理大臣
(署名者左から) ホジャムハメドフ副首相、JOGMEC河野理事長



モザンビークとのAgreement調印式
(2014年1月12日@モザンビーク)



(立会人左から) 安倍内閣総理大臣、グブーザ大統領
(署名者左から) 藤島三井物産社長、JOGMEC河野理事長、カロンガENR役員

○ ハイブリッド防潮堤開発チーム

[JFE エンジニアリング㈱]

代表者 田中 祐人 (JFE エンジニアリング㈱ 鋼構造本部
沿岸鉄構事業部 主幹)

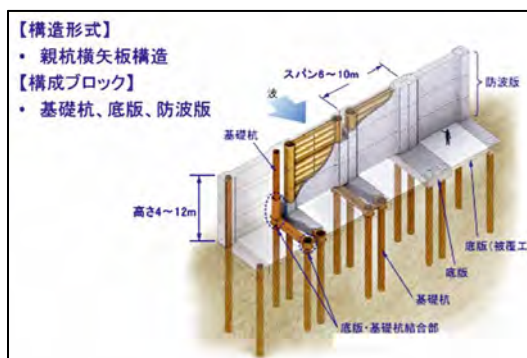
メンバー 4名 (JFE エンジニアリング㈱)

本件は、東北復興のため現地の状況を踏まえて、現地工事を最小限にすると共に工期を従来の半分で建設できるプレキャスト型の防潮堤の開発に関するものである。

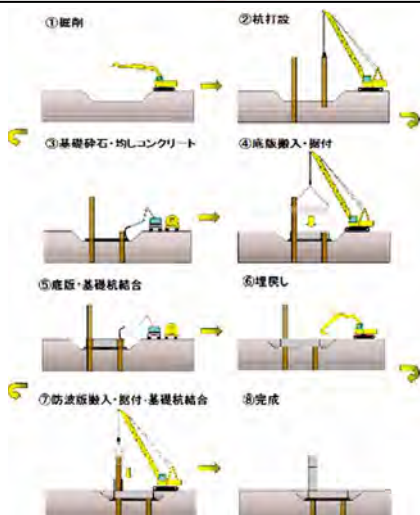
現地では多数の復興工事が行われているため資材や人手が不足しており、工事の遅延や未着手等の問題が発生している。これらの問題を解決するため、同社は、現地作業のミニマム化が可能な、防潮堤の堤体ブロックをプレキャスト材とする「ハイブリッド防波堤」を開発した。本工法は、従来工法の現場打ち RC 防波堤に比べて、工期 6 割減、工数 8 割減、現地資材 8 割減の効果がある。防波版と底版は工場で作成され、現地に輸送される。現地では鋼管杭打ち作業およびプレキャストブロックを鋼管杭に組上げる作業だけとなり、現地作業を大幅にミニマム化できる。

ハイブリッド構造である防潮堤は、芯材となる高強度の鋼材を経済的なコンクリートで被覆一体化されており、粘り強い構造、長期耐久性と経済性を兼ね備えている。また、底版により津波時の地盤洗掘を防止し、基礎杭により液状化による地盤沈下に対する影響を防止する。

以上の特長が評価され、既に岩手県山田漁港、宮城県気仙沼港で採用され建設中である。今後、被災地での需要増が予想され、奨励特別賞として表彰するに値する。



(1) 現地（岩手県山田漁港）での鋼管杭打設状



(2) 工場（岩手県一関市）での防波版ブロック輸送状況

○ visiMax mobile 開発チーム

【(株)竹中工務店】

代表者 ^{おお}大 ^{いし}石 ^{じゅん}潤 (株)竹中工務店 技術研究所 新生産システム部門
情報技術G 主任研究員)

メンバー 3名 (株)竹中工務店)

本件は、客先にて仮想現実(バーチャルリアリティ)建築プレゼンテーションを可能にする可搬型バーチャルリアリティドームシアターに関する技術開発である。

本件は、客先で建築の外観・内観をリアルにプレゼンテーションするため、魚眼レンズプロジェクタとデジタル歪み補正ソフトウェアを応用して、180度の半円ドームに1枚の正しい画像を投影するシステムを開発したことが特徴である。可搬式の直径4m、高さ3mのドーム式シアターを持ち運び、客先の室内で組み立てて建物空間を歩き回るウォークスルーバーチャルリアリティを可能にした。

従来は、同社の技術研究所で6台のプロジェクターを使用して直径4mの固定式ドームにバーチャルリアリティプレゼンテーションを投影していた(“visiMax”)が、本件は、この“visiMax mobile”を開発したことにより、どこでも建築設計者と顧客が建築を体験しながら対話できるようになったわが国初めての技術である。

技術開発は完了して自社案件や、他社設計の案件で活用を進めている。以上より、奨励特別賞として表彰するに値する。



従来の visiMax 固定式スクリーン



visiMaxmobile 外見



visiMaxmobile デジタル歪み補正画像



visiMaxmobile スクリーンショット

○ 浮体式洋上風力発電（ハイブリッドスパー型）実証プロジェクトチーム
[戸田建設(株)、国立大学法人京都大学、(株)日立製作所、芙蓉海洋開発(株)、
(独)海上技術安全研究所]

代表者 小^こ林^{ぼやし} 修^{おきむ}（戸田建設(株) 価値創造推進室 開発センター エネルギーユニット 部長）

メンバー 42名（戸田建設(株)19名、国立大学法人京都大学 4名、(株)日立製作所 13名、芙蓉海洋開発(株)3名、(独)海上技術安全研究所 3名）

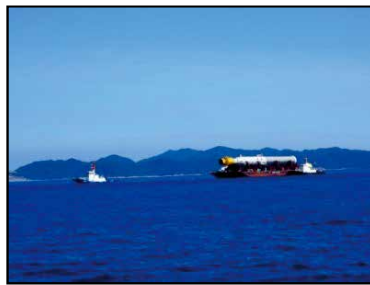
本件は、わが国で初めて、2013年10月に長崎県五島市で運転を開始した2MW風車を搭載した浮体式洋上風力発電施設（世界初のハイブリッドスパー型）に関するものである。

わが国は、排他的経済水域が世界第6位の海洋国であり、特に導入ポテンシャルが大きく、水深が深い海域に適用可能な浮体式洋上風力発電の実用化が期待されている。同チームは、平成19年度から開発を開始し、1/100スケールモデルでの水槽実験から順次スケールアップし実証を進めてきた。平成22年度からは、環境省の委託事業である「浮体式洋上風力発電実証事業」として同チームの提案が採択され、平成24年度には100kwの小規模試験機を、平成25年度には2MWの実証機を実海域に設置し、商用電力系統に連系させた。また、本浮体は、構造が単純で復原性に優れたスパー型浮体の上部に鋼、下部にコンクリートを採用することで、安定性を向上させるとともにコストの低減を図っている。

実証機の運転を成功させた成果は高く評価でき、本浮体が実用化した段階でエンジニアリング産業の発展に多いに貢献が期待できるものであり、奨励特別賞として表彰するに値する。



浮体部接合



運搬



建起こし



風車部組立



2 MW実証機完成

グループ(チーム)表彰の構成員リスト(代表者以外)

28.	百瀬 俊由	プロセス・エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	139.	山根 那佳	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
29.	梶田 卓	シニアリードエンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	140.	小林 拓人	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
30.	増野 研一	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	141.	木下 貴裕	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
31.	道下 隆一郎	ファイバープロテクションリーダー	千代田化工建設株式会社	142.	金丸 正治	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
32.	井上 久雄	テクニカルシニアコンサルタント	千代田化工建設株式会社	143.	福田 晃治	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
33.	小島 龍夫	シニアリードエンジニア (材料技術)	千代田化工建設株式会社	144.	上野 貴	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社
34.	荒木 真亮	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	145.	齊藤 智明	電気エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
35.	米山 慎一	プロセスリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	146.	岡崎 泰	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
36.	藤枝 直輝	リードエンジニア (構造解析技術)	千代田化工建設株式会社	147.	細田 賢司	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
37.	前田 俊	リードエンジニア (音響/振動解析技術)	千代田化工建設株式会社	148.	佐藤 隆男	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
38.	安井 正二郎	プロセスリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	149.	工藤 雅之	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
39.	汐崎 徹	プロセスリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	150.	成重 大輔	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
40.	池田 健	プロセスリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	151.	福田 淳	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
41.	福業 文彦	リードエンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	152.	佐野 修二	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
42.	田野倉 亮	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	153.	武藤 慎輔	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
43.	水沼 宗太郎	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	154.	谷田部 秀樹	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
44.	黒田 康博	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	155.	名倉 達也	電気エンジニア	千代田化工建設株式会社
45.	大黒 朋城	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	156.	木上 謙	計装エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
46.	藤田 祐介	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	157.	橋本 謙一	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
47.	倉井 亮樹	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	158.	石井 祐和	計装リードエンジニア	千代田化工建設株式会社
48.	福垣 宙伸	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	159.	久保田 尊文	計装リードエンジニア	千代田化工建設株式会社
49.	藤原 昌孝	シニアリードエンジニア (構造解析技術)	千代田化工建設株式会社	160.	細田 康彦	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
50.	浅見 平太	エンジニア (構造解析技術)	千代田化工建設株式会社	161.	高川 尊博	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
51.	坂本 邦雄	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	162.	櫻嶋 雅之	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
52.	岡 潤	エンジニア (材料技術)	千代田化工建設株式会社	163.	納所 秀千	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
53.	甲斐 麻衣	エンジニア (材料技術)	千代田化工建設株式会社	164.	富木 隆夫	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
54.	川野 豪	エンジニア (材料技術)	千代田化工建設株式会社	165.	相原 孝吾	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
55.	山口 和也	エンジニア (音響/振動解析技術)	千代田化工建設株式会社	166.	木本 亮	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
56.	山川 純子	エンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	167.	竹田 亮明	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
57.	黒 徳金	エンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	168.	北原 秀一	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
58.	平松 隆志	エンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	169.	日下 諒	計装コンストラクションマネージャー	千代田化工建設株式会社
59.	松本 祐夫	エンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	170.	藤 誠	計装コンストラクションマネージャー	千代田化工建設株式会社
60.	川野 賢	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	171.	吉田 真	計装コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社
61.	田口 智将	エンジニア (プロセス解析技術)	千代田化工建設株式会社	172.	大里 啓崇	計装コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社
62.	辻澤 裕	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	173.	岡本 伸行	計装コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社
63.	酒井 保	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	174.	岡本 卓二	計装コンストラクションリードエンジニア	千代田化工建設株式会社
64.	清水 康彦	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	175.	西川 雅敏	計装コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社
65.	中村 航平	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	176.	川崎 真二	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
66.	渡邊 直輔	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	177.	松原 功二	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
67.	木戸 篤	プロセスエンジニア	千代田化工建設株式会社	178.	野崎 直博	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
68.	落合 孝之	シニアリードエンジニア (音響/振動解析技術)	千代田化工建設株式会社	179.	小杉 大 聡	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
69.	都島 良治	エンジニア (材料技術)	千代田化工建設株式会社	180.	寺西 文男	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
70.	山中 靖雄	プロセスリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	181.	杉山 博幸	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
71.	菊地 昌	ファイバープロテクションエンジニア	千代田化工建設株式会社	182.	小林 誠二	計装エンジニア	千代田化工建設株式会社
72.	小林 治人	ラボワトリーエンジニア	千代田化工建設株式会社	183.	野村 誠	コミュニケーション・エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
73.	田中 史明	シミュレーションマネージャー	千代田化工建設株式会社	184.	相積 剛志	コミュニケーション・エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
74.	岡本 俊英	シミュレーションマネージャー	千代田化工建設株式会社	185.	加藤 孝二	IV コミュニケーションマネージャー	千代田化工建設株式会社
75.	久保田 功	シミュレーションリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	186.	北山 高志	IV コミュニケーションエンジニア	千代田化工建設株式会社
76.	藤原 義明	シミュレーションリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	187.	木暮 恵吾	IV コミュニケーションマネージャー	千代田化工建設株式会社
77.	ナジ ユーノシユ	シミュレーションリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	188.	阿部 義博	IV コミュニケーションマネージャー	千代田化工建設株式会社
78.	藤 悠	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	189.	岡田 政博	IV コミュニケーションエンジニア	千代田化工建設株式会社
79.	フナ 利道	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	190.	田中 智史	IV ターンオーバーエンジニア	千代田化工建設株式会社
80.	網代 邦夫	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	191.	前 博雄	IV ターンオーバーエンジニア	千代田化工建設株式会社
81.	高山 大輔	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	192.	須田 正樹	フィールドQCマネージャー	千代田化工建設株式会社
82.	菅野 立基	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	193.	坂田 健太郎	クオリティコントロールマネージャー	千代田化工建設株式会社
83.	若尾 和俊	シミュレーションエンジニア	千代田化工建設株式会社	194.	岩本 博之	QC エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
84.	アウチョー ミン	ビルディングエンジニア	千代田化工建設株式会社	195.	菅野 亮	QC マネージャー	千代田化工建設株式会社
85.	荒瀬 文雄	ビルディングエンジニア	千代田化工建設株式会社	196.	藤田 亮	QC エンジニア	千代田化工建設株式会社
86.	山本 亮仁	ビルディングリードエンジニア	千代田化工建設株式会社	197.	上別府 裕志	QC エンジニア	千代田化工建設株式会社
87.	菊地 尊彦	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	198.	堀江 謙三	QC エンジニア	千代田化工建設株式会社
88.	阿部 純一	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	199.	岡崎 亮	レジリエントリサーチ・エンジニア	千代田化工建設株式会社
89.	青山 大滄	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	200.	田中 孝博	フィールドコントロールマネージャー	千代田化工建設株式会社
90.	上田 毅	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	201.	金鐘 正輝	プロジェクトコントロールマネージャー	千代田化工建設株式会社
91.	石原 敦	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	202.	藤原 正幸	コストエンジニア	千代田化工建設株式会社
92.	太田 正史	機械エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社	203.	立花 亮	コストエンジニア	千代田化工建設株式会社
93.	伊豆原 拓	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	204.	田丸 成吾	コストエンジニア	千代田化工建設株式会社
94.	大熊 勝表	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	205.	吉村 清二	コストエンジニア	千代田化工建設株式会社
95.	田村 卓	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	206.	脇田 雄二	スケジュールエンジニア	千代田化工建設株式会社
96.	中根 正人	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	207.	田中 祐介	スケジュールエンジニア	千代田化工建設株式会社
97.	宮下 謙	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	208.	梅本 亮	コストエンジニア	千代田化工建設株式会社
98.	黒野 卓	機械リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	209.	阿部 義博	プロジェクト・インテグレーションディレクター	千代田化工建設株式会社
99.	後藤 謙哉	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	210.	前田 康之	調達・エンジニアリングマネージャー	千代田化工建設株式会社
100.	中川 裕介	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	211.	魚谷 常太	シニア調達マネージャー	千代田化工建設株式会社
101.	宮崎 祐輔	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	212.	南郷 文雄	シニア調達マネージャー	千代田化工建設株式会社
102.	神山 和仁	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	213.	江口 雅夫	調達マネージャー	千代田化工建設株式会社
103.	杉田 祐司	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	214.	吉野 喜典	調達グループリーダー	千代田化工建設株式会社
104.	鈴木 健作	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	215.	川原 圭丞	調達グループリーダー	千代田化工建設株式会社
105.	工藤 裕二郎	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	216.	尾崎 勇人	調達グループリーダー	千代田化工建設株式会社
106.	清水 謙昭	機械エンジニア	千代田化工建設株式会社	217.	石井 有一郎	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
107.	今本 光昭	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	218.	尾村 春明	ロジスティクスコーディネーター	千代田化工建設株式会社
108.	上久保 博幸	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	219.	田中 武彦	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
109.	岡村 賢	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	220.	阿部 久好	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
110.	馬淵 俊郎	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	221.	橋本 麻衣子	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
111.	坂井 文明	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	222.	瀧 正太郎	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
112.	児玉 和弘	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	223.	田中 裕	調達コーディネーター	千代田化工建設株式会社
113.	野手 三衛	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	224.	岡本 真由美	調達バイヤー	千代田化工建設株式会社
114.	石井 司	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	225.	シロガキ (資料)	調達バイヤー	千代田化工建設株式会社
115.	高須 潤	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	226.	横倉 素子	調達バイヤー	千代田化工建設株式会社
116.	木本 秀之	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	227.	矢嶋 真由美	調達バイヤー	千代田化工建設株式会社
117.	坂本 義明	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	228.	田淵 素子	調達クォーク	千代田化工建設株式会社
118.	杉浦 弘毅	配管リードエンジニア	千代田化工建設株式会社	229.	鈴木 龍夫	調達クォーク	千代田化工建設株式会社
119.	関 浩	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	230.	高塚 隆幸	調達IT・システムエンジニア	千代田化工建設株式会社
120.	鈴木 浩	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	231.	高市 正	千代田S.R.O.事務所 GM	千代田化工建設株式会社
121.	富田 誠司	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	232.	牧 三之	千代田S.R.O.事務所 GM	千代田化工建設株式会社
122.	岩穴口 英雄	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	233.	田中 尚子	輸送コーディネーター	千代田化工建設株式会社
123.	岩瀬 保博	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	234.	今野 四十二	輸送コーディネーター	千代田化工建設株式会社
124.	永井 邦雄	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	235.	井ノ上 博隆	輸送コーディネーター	千代田化工建設株式会社
125.	花井 駿介	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	236.	藤井 秀秋	輸送コーディネーター	千代田化工建設株式会社
126.	折川 安廣	配管コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社	237.	古藤 尚利	輸送マネージャー	千代田化工建設株式会社
127.	中川 空	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	238.	佐藤 真二	マテリアルコントロールマネージャー	千代田化工建設株式会社
128.	有馬 一成	配管コンストラクションエンジニア	千代田化工建設株式会社	239.	太田 一朗	IT シニアリードエンジニア	千代田化工建設株式会社
129.	渡辺 龍夫	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	240.	大野 裕	IT マネージャー	千代田化工建設株式会社
130.	高野 太介	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	241.	山崎 謙治	IT マネージャー	千代田化工建設株式会社
131.	後藤 大尊	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	242.	若 洋海	IT エンジニア	千代田化工建設株式会社
132.	山口 真人	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	243.	白石 仁	IT IM シニアリードエンジニア	千代田化工建設株式会社
133.	舟羽 唯彦	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	244.	星野 巧	エクスターナルウェアディレクター	千代田化工建設株式会社
134.	山田 賢司	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	245.	渡藤 比呂志	フィールドビジネスディレクター	千代田化工建設株式会社
135.	シノ シン	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	246.	福田 哲夫	フィールドビジネスディレクター	千代田化工建設株式会社
136.	小本 隆紀	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	247.	小野 寛	ファイナンス&アカウンティングマネージャー	千代田化工建設株式会社
137.	家田 未来	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	248.	森 隆	ファイナンス&アカウンティングマネージャー	千代田化工建設株式会社
138.	高瀬 利直	配管エンジニア	千代田化工建設株式会社	249.	河本 智希	ファイナンスアドバイザー	千代田化工建設株式会社

472.	谷 一己	IV 調達マネージャー	日揮㈱
473.	中野 浩之	調達マネージャー	日揮㈱
474.	青木 洋一	調達担当	日揮㈱
475.	藤田 強	輸送担当	日揮㈱
476.	熊山 孝夫	輸送担当	日揮㈱
477.	大塚 信幸	IV 工程管理コーディネーター	日揮㈱
478.	船橋 恵子	調達担当	日揮㈱
479.	村山 明彦	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
480.	榎本 晴男	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
481.	下坊江 博	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
482.	土屋 弘道	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
483.	山岸 弘之	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
484.	中田 康介	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
485.	高崎 憲章	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
486.	天野 達也	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
487.	野村 徳太郎	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
488.	渡辺 篤	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
489.	阿部 善徳	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
490.	櫻井 雄介	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
491.	大野 陽一郎	IV 調達アドバイザー	日揮㈱
492.	平澤 興	IV 調達コーディネーター	日揮㈱

[ミャンマー連邦共和国 シュエゴンダイン高架橋 建設プロジェクトチーム]

氏 名	役 割	所属企業
1. 井浦 明一	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
2. 菊地 浩貴	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
3. 小林 敏郎	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
4. 水谷 慎吾	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
5. 辻 恭明	土木担当マネージャー	I F E エンジニアリング㈱
6. 北島 久雄	土木担当マネージャー	I F E エンジニアリング㈱
7. 越野 誠	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
8. 田中 孝明	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
9. 渡辺 浩太	プロジェクトチーム エンジニア	I F E エンジニアリング㈱
10. 中野 隆	網橋設計担当	I F E エンジニアリング㈱
11. 太田 昌益	網橋設計担当	I F E エンジニアリング㈱
12. 高野 賢 太広	網橋設計担当	I F E エンジニアリング㈱
13. 小林 正人	国際輸送担当	I F E エンジニアリング㈱
14. 藤谷 和歌	アドミニストレーション	I F E エンジニアリング㈱

[アラブ首長国連邦アブダビ首長国GASCO IGDプロジェクトチーム]

氏 名	役 割	所属企業
1. 山崎 憲一	IV ディレクティブプロジェクトダイレクター	日揮㈱
2. 倉益 敦	IV ディレクティブサイトマネージャー	日揮㈱
3. 浅尾 達士	IV エンジニアリングマネージャー	日揮㈱
4. 加納 正俊	IV HSE マネージャー	日揮㈱
5. 太澤 恒美	IV サブコントラクト マネージャー	日揮㈱
6. 原 耕司	IV スタートアップエンジニア	日揮㈱
7. 本山 健一	IV 調達マネージャー	日揮㈱
8. 中野 展三	IV 元々システムエンジニア	日揮㈱
9. 土田 尚人	IV プロジェクトマネージャー	日揮㈱
10. 金原 光彦	IV プロジェクトマネージャー	日揮㈱
11. 吉田 明朗	営業担当	日揮㈱
12. 菅野 大次郎	営業担当	日揮㈱
13. 新井 二則	営業担当	日揮㈱
14. 片山 晃	P1財務担当	日揮㈱
15. 山本 泰良	P1保険担当	日揮㈱
16. 飯田 十三	契約担当	日揮㈱
17. 山岸 弘之	調達マネージャー	日揮㈱
18. 藤崎 謙徳	調達担当	日揮㈱
19. 太田 泰貴	調達担当	日揮㈱
20. 青木 洋一	調達計装担当	日揮㈱
21. 相澤 和敏	調達計装担当	日揮㈱
22. 渋谷 和夫	調達配管担当	日揮㈱
23. 上村 卓	調達配管担当	日揮㈱
24. 西崎 亮	調達配管担当	日揮㈱
25. 江場 剛史	工程管理担当	日揮㈱
26. 太井 亮	輸送担当	日揮㈱
27. 佐々木 康彰	QCリードエンジニア	日揮㈱
28. 柳川 太輔	QCエンジニア	日揮㈱
29. 村田 亮	システムエンジニアリングマネージャー	日揮㈱
30. 藤谷 均	アシスタントエンジニアリングマネージャー	日揮㈱
31. 石塚 崇行	エンジニアリングマネージャー	日揮㈱
32. 小倉 快友	エンジニアリングマネージャー	日揮㈱
33. 島崎 健	エンジニアリングマネージャー	日揮㈱
34. 吉原 賢一	コストエンジニアリングマネージャー	日揮㈱
35. 小柴 岳士	コストコントロールエンジニア	日揮㈱
36. 二見 昌剛	プロジェクトコントロールマネージャー	日揮㈱
37. 水谷 暢良	ディレクティブプロジェクトコントロールマネージャー	日揮㈱
38. 佐々木 健	スケジュールコントロールエンジニア	日揮㈱
39. 村田 祐人	スケジュールコントロールエンジニア	日揮㈱
40. 河野 直樹	プロジェクトコントロールマネージャー	日揮㈱
41. 高澤 雅之	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
42. 村岡 孝洋	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
43. 山岡 晃洋	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
44. 森村 友哉	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
45. 西村 保男	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
46. 設楽 昇平	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
47. 中下 純一	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
48. 傳田 耕平	プロジェクトエンジニア	日揮㈱
49. 岩崎 剛	コンストラクションアドバイザー	日揮㈱
50. 渡 洋一	コンストラクションマネージャー	日揮㈱
51. 藤岡 洋一	コンストラクションマネージャー	日揮㈱
52. 花田 清人	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
53. 今村 俊介	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
54. 上村 龍成	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
55. 町田 宗一郎	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
56. 田中 博史	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
57. 武富 一樹	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
58. 柳生 崇理	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
59. 齋藤 陽介	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
60. 伊藤 信幸	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
61. 藤元 彰義	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
62. 柿沼 雄介	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
63. 坂上 鉄兵	コンストラクションエンジニア	日揮㈱
64. 平野 達也	アドミニストレーションマネージャー	日揮㈱
65. 宇都宮 誠	アドミニストレータ	日揮㈱
66. 高橋 賢	アドミニストレータ	日揮㈱
67. 北澤 美幸	アドミニストレータ	日揮㈱

68.	峠 浩之	プロセスリードエンジニア	日揮㈱
69.	岩松 昇	プロセスアシスタントリードエンジニア	日揮㈱
70.	中村 真之	プロセスアシスタントリードエンジニア	日揮㈱
71.	SHOKANBAY TASKYN	プロセスエンジニア	日揮㈱
72.	関 翔太郎	プロセスエンジニア	日揮㈱
73.	古川 雅敏	プロセスエンジニア	日揮㈱
74.	山本 洋祐	プロセスエンジニア	日揮㈱
75.	青井 隆志	プロセスエンジニア	日揮㈱
76.	中井 孝輔	プロセスエンジニア	日揮㈱
77.	難波 一志	プロセスエンジニア	日揮㈱
78.	國弘 康志	プロセスエンジニア	日揮㈱
79.	河本 明人	プロセスシステムエンジニア	日揮㈱
80.	佐々木 寿	プロセスシステムエンジニア	日揮㈱
81.	山田 正年	ラボワトリードエンジニア	日揮㈱
82.	木曾 朋朗	材料技術リードエンジニア	日揮㈱
83.	片岡 俊二	構造解析リードエンジニア	日揮㈱
84.	藤田 敏明	溶接リードエンジニア	日揮㈱
85.	長谷川 智治	シビルエンジニア	日揮㈱
86.	大橋 和昭	シビルリードエンジニア	日揮㈱
87.	若田 亮	シビルアシスタントリードエンジニア	日揮㈱
88.	工藤 真	シビルエンジニア	日揮㈱
89.	高橋 憲之	シビルエンジニア	日揮㈱
90.	松浦 祐介	シビルエンジニア	日揮㈱
91.	生田 智哉	シビルエンジニア	日揮㈱
92.	大和 恭仁	シビルエンジニア	日揮㈱
93.	白根 公男	建築グループリーダー/リードエンジニア	日揮㈱
94.	浅井 敦子	建築エンジニア	日揮㈱
95.	上原 義仁	建築エンジニアリングリードエンジニア	日揮㈱
96.	高野 謙二	建築エンジニアリングアシスタントリードエンジニア	日揮㈱
97.	高橋 直之	装置 EN エンジニア	日揮㈱
98.	新井 隆	装置 EN エンジニア	日揮㈱
99.	木田 倉右	装置 EN エンジニア	日揮㈱
100.	藤 裕介	装置 EN エンジニア	日揮㈱
101.	分須 大輔	装置 EN エンジニア	日揮㈱
102.	藤島 哲郎	装置 EN エンジニア	日揮㈱
103.	酒井 光彦	ペイントインジェクションリードエンジニア	日揮㈱
104.	中村 真樹	制御計装マネージャー/リードエンジニア	日揮㈱
105.	濱田 孝	制御計装アシスタントリードエンジニア	日揮㈱
106.	朝原田 孝明	制御計装エンジニア	日揮㈱
107.	岩崎 拓弥	制御計装エンジニア	日揮㈱
108.	太田 康義	制御計装エンジニア	日揮㈱
109.	大塚 智広	制御計装エンジニア	日揮㈱
110.	中村 真之	制御計装エンジニア	日揮㈱
111.	湯川 英平	制御計装エンジニア	日揮㈱
112.	武井 吉史	制御計装エンジニア	日揮㈱
113.	高野 伸一	機器リードエンジニア	日揮㈱
114.	秋田 健二	機器アシスタントリードエンジニア	日揮㈱
115.	SYED UMAR BIN SYED SALEH	機器エンジニア	日揮㈱
116.	高橋 泰平	機器エンジニア	日揮㈱
117.	佐々木 俊介	機器エンジニア	日揮㈱
118.	佐藤 正昌	タンクリードエンジニア	日揮㈱
119.	新井 信吾	システム機械リードエンジニア	日揮㈱
120.	IL YASOV EMIL	システム機械エンジニア	日揮㈱
121.	本田 高廣	パッケージリードエンジニア	日揮㈱
122.	加地 洋一	回転機グループマネージャー	日揮㈱
123.	加藤 謙史	回転機リードエンジニア	日揮㈱
124.	日吉 海郎	回転機アシスタントリードエンジニア	日揮㈱
125.	國東 洋太	回転機エンジニア	日揮㈱
126.	黒田 志佑	回転機エンジニア	日揮㈱
127.	網代 隆	回転機エンジニア	日揮㈱
128.	志 藤洋	回転機エンジニア	日揮㈱
129.	斎藤 明	電気グループマネージャー	日揮㈱
130.	澤本 勲	電気リードエンジニア	日揮㈱
131.	松本 清隆	電気アシスタントリードエンジニア	日揮㈱
132.	津田 崇弘	電気防食リードエンジニア	日揮㈱
133.	鶴町 崇	電気エンジニア	日揮㈱
134.	渡邊 正典	電気エンジニア	日揮㈱
135.	齋藤 悦史	電気調律担当	日揮㈱
136.	浜田 英外	HSE リードエンジニア	日揮㈱
137.	藤谷 佳典	防滴リードエンジニア	日揮㈱
138.	宮下 泰輝	HSE エンジニア	日揮㈱
139.	太田 保 暉	HSE エンジニア	日揮㈱
140.	角谷 正	IT マネージャー	日揮㈱
141.	谷川 敏貴	IT エンジニア	日揮㈱
142.	野中 和明	IT エンジニア	日揮㈱
143.	越野 達	OKM リードエンジニア	日揮㈱
144.	外崎 正太	フロントコミッションングマネージャー	日揮㈱
145.	水島 明雄	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
146.	外崎 正太	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
147.	浅井 亮	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
148.	藤原 和彦	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
149.	藤川 徹	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
150.	藤村 雅	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
151.	牧野 隆	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱
152.	澤本 重朝	フロントコミッションングエンジニア	日揮㈱

[鳥島工場 T L 2 2 LNG 地下式貯槽建設プロジェクトチーム]

氏 名	役 割	所属企業	
1.	平賀 宙	エンジニア	東京ガス㈱
2.	川村 佳則	エンジニア	東京ガス㈱
3.	岩崎 淳	エンジニア	東京ガス㈱
4.	石谷 幸雄	エンジニア	東京ガス㈱
5.	藤田 敬彦	エンジニア	東京ガス㈱
6.	藤原 泰輔	エンジニア	東京ガス㈱
7.	成毛 善一郎	エンジニア	東京ガス㈱
8.	森 康宏	エンジニア	東京ガス㈱
9.	津金 清一郎	エンジニア	東京ガス㈱
10.	竹内 文郎	エンジニア	東京ガス㈱
11.	浅井 謙一	エンジニア	東京ガス㈱
12.	大森 康	スタートアップチーム	東京ガス㈱
13.	日比 友規	スタートアップチーム	東京ガス㈱
14.	近藤 太	スタートアップチーム	東京ガス㈱
15.	和賀 秀徳	現場代理人 所長	清水建設㈱
16.	丸田 泰志	副所長	清水建設㈱
17.	松本 洋	副所長	清水建設㈱
18.	佐野 健一郎	施工計画・監理	清水建設㈱
19.	奥田 祐二	施工計画・監理	清水建設㈱
20.	村上 一郎	施工計画・監理	清水建設㈱
21.	森脇 徹	施工計画・監理	清水建設㈱
22.	小林 拓生	施工計画・監理	清水建設㈱

23.	黒田 直樹	施工計画・監理	清水建設㈱
24.	佐々木 康治	施工計画・監理	清水建設㈱
25.	戸田 晶	施工計画・監理	清水建設㈱
26.	高山 聡志	施工計画・監理	清水建設㈱
27.	山本 佑介	施工計画・監理	清水建設㈱
28.	小澤 加前	施工計画・監理	清水建設㈱
29.	中島 健輔	施工計画・監理	清水建設㈱
30.	杉野 文朗	安全担当	清水建設㈱
31.	坂本 静朗	品質担当	清水建設㈱
32.	千葉 順久	施工計画・監理	清水建設㈱
33.	渡邊 慎太郎	施工計画・監理	清水建設㈱
34.	赤堀 亮太	施工計画・監理	清水建設㈱
35.	菊永 親志	施工計画・監理	清水建設㈱
36.	田中 文隆	施工計画・監理	清水建設㈱
37.	岩瀬 昇	施工計画・監理	清水建設㈱
38.	後藤 陽一	施工計画・監理	清水建設㈱
39.	大隈 拓	施工計画・監理	清水建設㈱
40.	竹谷 啓	施工計画・監理	清水建設㈱
41.	若林 雅樹	設計担当	清水建設㈱
42.	中溝 光広	設計担当	清水建設㈱
43.	藤水 友三郎	設計担当	清水建設㈱
44.	新妻 勝之	設計担当	清水建設㈱
45.	奥津 直孝	設計担当	清水建設㈱
46.	旭木 幹雄	設計担当	清水建設㈱
47.	伊藤 健二	設計担当	清水建設㈱
48.	土屋 雅徳	設計担当	清水建設㈱
49.	佐久間 清文	設計担当	清水建設㈱
50.	坂井 康博	設計担当	清水建設㈱
51.	橋本 三智輝	設計担当	清水建設㈱
52.	和田 智之	設計担当	清水建設㈱
53.	佐山 真奈	設計担当	清水建設㈱
54.	関塚 英彦	設計担当	清水建設㈱
55.	小谷 龍矢	設計担当	清水建設㈱
56.	西尾 裕美	設計担当	清水建設㈱
57.	近藤 弘樹	設計担当	清水建設㈱
58.	ホーン クアン	設計担当	清水建設㈱
59.	内海 正樹	設計担当	清水建設㈱
60.	久保 正輝	設計担当	清水建設㈱
61.	阿部 雅也	設計担当	清水建設㈱
62.	黒木 浩史	設計担当	清水建設㈱
63.	坂本 研吾	設計担当	清水建設㈱
64.	富田 佳和	設計担当	清水建設㈱
65.	八十 芳樹	プロジェクトディレクター	㈱ I H I
66.	富崎 正治	プロジェクトマネージャー	㈱ I H I
67.	山田 寿一郎	I H I 現場所長	㈱ I H I
68.	藤崎 幸男	I H I 現場所長	㈱ I H I
69.	中村 英晃	エンジニアリングマネージャー	㈱ I H I
70.	内田 優希	プロセス担当エンジニア	㈱ I H I
71.	長根 一宏	プロセス担当エンジニア	㈱ I H I
72.	小嶋 悠	プロセス担当エンジニア	㈱ I H I
73.	青原 泰助	プロセス担当エンジニア	㈱ I H I
74.	安本 大地	プロセス担当エンジニア	㈱ I H I
75.	嶋村 恭弘	タンク担当エンジニア	㈱ I H I
76.	中山 憲治	タンク担当エンジニア	㈱ I H I
77.	辻 知英	タンク担当エンジニア	㈱ I H I
78.	中村 友彦	タンク担当エンジニア	㈱ I H I
79.	黒田 崇	タンク担当エンジニア	㈱ I H I
80.	黒見 敬史	配管架構担当エンジニア	㈱ I H I
81.	小暮 康仁	配管架構担当エンジニア	㈱ I H I
82.	木本 敏一	配管架構担当エンジニア	㈱ I H I
83.	吉岡 隆徳	配管架構担当エンジニア	㈱ I H I
84.	瀧川 親子	配管架構担当エンジニア	㈱ I H I
85.	黒田 真之	電気計装担当エンジニア	㈱ I H I
86.	井上 剛生	品質担当エンジニア	㈱ I H I
87.	塚原 正泰	品質担当エンジニア	㈱ I H I
88.	横尾 真吾	品質担当エンジニア	㈱ I H I
89.	杉浦 伸也	調達担当	㈱ I H I
90.	堀口 誠志	調達担当	㈱ I H I
91.	島田 晴康	調達担当	㈱ I H I
92.	八木 陽子	調達担当	㈱ I H I
93.	前 希典	調達担当	㈱ I H I
94.	原田 武	調達担当	㈱ I H I
95.	関分 正徳	調達担当	㈱ I H I
96.	松岡 大機	コストエンジニア	㈱ I H I
97.	佐藤 太計	コストエンジニア	㈱ I H I
98.	濱川 尚士	コストエンジニア	㈱ I H I
99.	降旗 順一	工事計画エンジニア	㈱ I H I
100.	喜田 啓介	工事計画エンジニア	㈱ I H I
101.	内山 尊洋	工事計画エンジニア	㈱ I H I
102.	佐藤 彰洋	工事計画エンジニア	㈱ I H I
103.	小川 剛	工事計画エンジニア	㈱ I H I
104.	菅野 隆徳	工事計画エンジニア	㈱ I H I
105.	小林 研一郎	営業担当	㈱ I H I
106.	山崎 研史	営業担当	㈱ I H I
107.	木西 誠	営業担当	㈱ I H I
108.	明神 潔	プロジェクトマネージャー	I H I プラント建設㈱
109.	松山 浩之	現場所長	I H I プラント建設㈱
110.	中平 光生	元方安全衛生管理者	I H I プラント建設㈱
111.	木下 誠	工事主任(監理技術者)	I H I プラント建設㈱
112.	岡田 和昌	プロセス設計	I H I プラント建設㈱
113.	千田 透	プロセス設計	I H I プラント建設㈱
114.	廣谷 亮彦	配管設計	I H I プラント建設㈱
115.	青田 友和	電気計装設計	I H I プラント建設㈱
116.	小池 章	電気計装設計	I H I プラント建設㈱
117.	内田 清	電気計装設計	I H I プラント建設㈱
118.	佐藤 尚之	電気計装設計	I H I プラント建設㈱
119.	小島 成之	工事計画	I H I プラント建設㈱
120.	相良 和広	工事計画	I H I プラント建設㈱
121.	山田 寛之	工事計画	I H I プラント建設㈱
122.	沖田 拓也	配管工事監督	I H I プラント建設㈱
123.	藤見 隆之	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
124.	藤又 武史	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
125.	岡田 正	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
126.	大島 真也	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
127.	加藤 勇人	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
128.	藤野 毅男	溶接工事監督	I H I プラント建設㈱
129.	神野 毅男	電気計装工事監督	I H I プラント建設㈱
130.	石塚 康広	電気計装工事監督	I H I プラント建設㈱
131.	加藤 俊子	調達担当	I H I プラント建設㈱
132.	芦田 知彦	調達担当	I H I プラント建設㈱

【白子川地下調節池工事チーム】

氏名	役割	所属企業
1. 立澤 誠春	施行管理・監督	東京電設建設局第四建設事務所
2. 油 聖吾	施行管理・監督	東京電設建設局第四建設事務所
3. 池田 健	施行管理・監督	東京電設建設局第四建設事務所
4. 味吉 修一	施行管理・監督	東京電設建設局第四建設事務所
5. 新井 昌二	工事計画・施工監理	大成建設㈱
6. 金田 修一	工事計画・施工監理	大成建設㈱
7. 倉森 啓二	工事計画・施工監理	大成建設㈱
8. 鹿嶋 孝久	工事計画・施工監理	大成建設㈱
9. 横内 慎太郎	工事計画・施工監理	大成建設㈱
10. 笠井 和俊	工事計画・施工監理	大成建設㈱
11. 小松 洋子	工事計画・施工監理	大成建設㈱
12. 麻 泰宏	工事計画・施工監理	大成建設㈱
13. 岩下 健	工事計画・施工監理	大成建設㈱
14. 高田 尚士	工事計画・施工監理	佐藤工業㈱
15. 吉野 隆之	工事計画・施工監理	佐藤工業㈱
16. 高口 往久	工事計画・施工監理	佐藤工業㈱
17. 富田 康裕	工事計画・施工監理	橋線高組
18. 河内 清二	工事計画・施工監理	橋線高組
19. 若田 啓紀	工事計画・施工監理	橋線高組

【ハーフプレキャスト工法を用いた鉄道ラーメン高架橋の構築方法の開発チーム】

氏名	役割	所属企業
1. 黒岩 俊之	開発段階の設計・施工指針の整備	東急建設㈱
2. 島田和久	運用段階の設計および機橋検討	東急建設㈱
3. 野口 聖	運用段階の設計および改良	東急建設㈱
4. 北沢 宏和	運用段階の改良	東急建設㈱
5. 萩原 克己	運用段階の計画および施工	東急建設㈱
6. 早川 正	運用段階の計画および施工	東急建設㈱
7. 吉田 宏	運用段階の計画および施工	東急建設㈱
8. 中村 聡	運用段階の計画および施工計画	東急建設㈱
9. 得能 達雄	開発段階の計画	川田建設㈱
10. 森谷 久吉	開発段階の計画	川田建設㈱
11. 小原 祥司	開発段階の計画・設計・施工指針の整備	川田建設㈱
12. 谷野 恭二	運用段階の設計および施工	川田建設㈱
13. 菊岡 祐三	運用段階の設計および機橋検討	川田建設㈱
14. 富田 清一	運用段階の部材製造計画および部材製造	川田建設㈱
15. 近藤 秀樹	運用段階の計画および施工	川田建設㈱
16. 清水 聡	運用段階の計画および施工	川田建設㈱
17. 王 蒙明	運用段階の計画および実験	川田建設㈱

【インド・JSW CDQプロジェクトチーム】

氏名	役割	所属企業
1. 村上 信行	営業部長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
2. 竹丸 廣志	営業ゼネラルマネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
3. 宇野 久孝	営業部長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
4. 武田 俊一	営業グループ長	N.S.E.I.
5. 橋爪 啓彦人	営業マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
6. 名倉 亮也	営業マネージャー	N.S.E.I.
7. 青原 幸一	営業マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
8. 中尾 恭輔	営業スタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
9. 重松 美紀	営業スタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
10. 木郷 明子	営業スタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
11. 谷口 彦文	プロジェクト専長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
12. 井上 航哉	プロジェクト専長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
13. 岸上 和嗣	技術マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
14. 安田 哲也	技術マネージャー	N.S.E.I.
15. 金丸 朋史	技術スタッフ	N.S.E.I.
16. 松本 恵蔵	プロジェクトグループ長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
17. 小畑山 正	プロジェクトマネージャー	北京中日聯能環保工程技術有限公司
18. 大岡 和和	プロジェクトマネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
19. 深瀬 隆彦	プロジェクトマネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
20. 高尾 雄俊	制御技術マネージャー	N.S.プラント設計㈱
21. 徳野 佳江	プロジェクトスタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
22. 田口 賢士	工事現場統括マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
23. 甲本 寛	工事現場マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
24. 笠嶋 二利	工事現場マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
25. 伊田 典明	製造管理マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
26. 松本 清博	製造管理マネージャー	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
27. 井上 隆行	製造管理スタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
28. 井上 明志	設計チーム長	N.S.プラント設計㈱
29. 大谷 洋	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
30. 徳野 隆	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
31. 橋本 勝美	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
32. 阿南 哲治	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
33. 鳥丸 隆	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
34. 竹尾 秀和	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
35. 吉田 宗男	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
36. 井川 直人	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
37. 藤永 秀樹	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
38. 有原 悠	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
39. 松崎 聡太	設計チーム	N.S.プラント設計㈱
40. 桑野 和弘	制御設計専長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
41. 田丸 清二	制御設計チーム長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
42. 岡本 博文	制御設計チーム	N.S.プラント設計㈱
43. 木田 隆	制御設計チーム	N.S.プラント設計㈱
44. 堀田 幸久	制御設計チーム	N.S.プラント設計㈱
45. 田畑 康二	制御設計スタッフ	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
46. 大庭 泰	総務員	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
47. 早川 徹哉	プロジェクト部長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱
48. 金子 宇内	技術部長	新日鉄住金エンジニアリング ㈱

【水質保全システム「アクアトップ」開発チーム】

氏名	役割	所属企業
1. 扇塚 大 亮	基礎技術・システム開発	大成建設㈱
2. 藤澤 祐二	基礎技術・システム開発	大成建設㈱
3. 志原 亮	システム構築の検証と普及・展開	大成建設㈱
4. 内藤 隆	システム開発と普及・展開	大成建設㈱
5. 内藤 智広	システム開発と普及・展開	大成建設㈱
6. 横山 理崇	基礎技術開発とシステム性能の検証	㈱日本種生グループ 本社

【生態系に配慮した大規模緑地空間創造チーム】

氏名	役割	所属企業
1. 牧野 雅一	屋上庭園・施設全体の設計	㈱大林組
2. 杉本 英夫	緑地評価の技術指導	㈱大林組
3. 寺井 学	生態系評価の技術指導	㈱大林組
4. 行松 宏祐	屋上庭園・施設の運営と維持管理	南海電気鉄道㈱
5. 岡崎 義章	屋上庭園・施設の運営と維持管理	南海電気鉄道㈱

[パラビエント開発・展開チーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 栗原 守, 林 貴, 劉 銘崇, etc.

[自動トラック倉庫制震システム開発チーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 長島 一郎, 日比野 浩, 青野 翔, etc.

[新東京ライン建設第四期工事グループ]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 横村 茂樹, 藤原 義次, 伊藤 武, etc.

[タービン統合化及び既設5号ボイラ燃焼改善プロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 永原 孝, 藤原 隆平, 藤部 大輔, etc.

[中部大学 キャンパススマートグリッド導入プロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 大山 俊雄, 高橋 賢康, 岡本 泰三, etc.

[都市における耐火木造建築の実施プロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 白波瀬 智幸, 奥津 俊宏, 原 哲也, etc.

[微小発破による解体工法「マイクロブラスタング工法」開発チーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 鎌方 雄一, 中村 聡雄, 中村 隆寛, etc.

[EAGLE CO.物理吸収プラントプロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 小俣 清次, 渡辺 義典, 鈴木 英樹, etc.

[省エネ環境配慮型施設建設プロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 田辺 喜久雄, 吉澤 和典, 石田 修一, etc.

[省エネシールド検討チーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 小山 幸則, 寺澤 隆一, 阪本 公明, etc.

[天然ガスの液体燃料化技術(JAPAN-GTLプロセス)実証研究プロジェクトチーム]

Table with 4 columns: No., Name, Role, Affiliated Company. Includes members like 木廣 龍史, 岡津 弘明, 多田 雄一, etc.

32.	村田 篤	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
33.	竹平 桂男	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
34.	若村 修	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
35.	幸 良之	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
36.	伊藤 健夫	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
37.	森田 泰一郎	FT合成プロセスの開発	新日鉄住金エンジニアリング 株
38.	八木 冬樹	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
39.	鎌石 隆一	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
40.	三浦谷 篤志	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
41.	河合 裕教	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
42.	南雲 篤郎	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
43.	若松 周平	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
44.	程島 真哉	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
45.	広畑 修	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株
46.	東村 達	合成ガス製造プロセスの開発	千代田化工建設 株

[ハイブリッド防潮堤開発チーム]

氏 名	役 割	所属企業
1. 奈良 正	設計法の体系化、技術開発	J.F.E.エンジニアリング 株
2. 海老原 俊広	構造物の標準化、施工計画	J.F.E.エンジニアリング 株
3. 小川 慧	設計法の体系化、技術開発	J.F.E.エンジニアリング 株

[visiMax mobile 開発チーム]

氏 名	役 割	所属企業
1. 片桐 岳	プレゼンテーション作成・ディレクション担当	關竹中工務 株
2. 渡 亮輔	可搬型エアドームスクリーン 企画設計担当	關竹中工務 株

[浮体式洋上風力発電(ハイブリッドスパー型)実証プロジェクトチーム]

氏 名	役 割	所属企業	
1.	佐藤 郁	技術開発、設計・施工責任者	戸田建設 株
2.	牛上 敬	技術開発、設計・施工法の検討	戸田建設 株
3.	浅野 均	技術開発、設計・施工法の検討	戸田建設 株
4.	宇都宮 智昭	設計技術の研究・指導	国立大学法人京都大学
5.	間瀬 肇	設計技術の研究・指導	国立大学法人京都大学
6.	白石 浩	技術開発、設計・施工法の検討	關日立製作所
7.	原田 卓	技術開発、設計・施工法の検討	關日立製作所
8.	鹿 龍郎	気象・海象調査、環境影響評価	芙蓉海洋開発 株
9.	杉岡 伸一	気象・海象調査、環境影響評価	芙蓉海洋開発 株
10.	高津 翼	気象・海象調査、環境影響評価	芙蓉海洋開発 株
11.	石田 茂隆	計測システムの設計・設置、設計支援	(株)海上技術安全研究所
12.	二村 正	計測システムの設計・設置、設計支援	(株)海上技術安全研究所
13.	國分 健太郎	計測システムの設計・設置、設計支援	(株)海上技術安全研究所
14.	深見 和宏	施工計画・施工支援	戸田建設 株
15.	江崎 正明	施工計画・施工支援	戸田建設 株
16.	野又 政宏	施工計画・施工支援	戸田建設 株
17.	太田 孝司	施工計画・施工支援	戸田建設 株
18.	橋本 裕	施工計画・施工支援	戸田建設 株
19.	岩本 信太郎	施工計画・施工支援	戸田建設 株
20.	中村 聖宏	施工計画・施工支援	戸田建設 株
21.	古谷 信幸	施工計画・施工支援	戸田建設 株
22.	清水 實	施工計画・施工支援	戸田建設 株
23.	高尾 聡秀	施工計画・施工支援	戸田建設 株
24.	米田 弘志	施工計画・施工支援	戸田建設 株
25.	川口 昌尚	施工計画・施工支援	戸田建設 株
26.	尾形 二郎	施工支援	戸田建設 株
27.	西村 正	施工法の検討・施工支援	戸田建設 株
28.	清水 謙	設計法の検討・設計支援	戸田建設 株
29.	森 信人	設計技術の研究・指導	国立大学法人京都大学
30.	安田 誠宏	設計技術の研究・指導	国立大学法人京都大学
31.	高橋 洋一	風車電気設計・施工支援	關日立製作所
32.	飛水 青男	風車構造設計・施工支援	關日立製作所
33.	柳 圭統	風車構造設計・施工支援	關日立製作所
34.	清水 莊一郎	風車システム設計	關日立製作所
35.	吉田 茂雄	風車システム設計	關日立製作所
36.	関 淳一	風車ソフトウェア設計	關日立製作所
37.	東石 昌治	風車制御設計	關日立製作所
38.	東本 正	風車風圧設計	關日立製作所
39.	伊藤 和博	風車風圧設計	關日立製作所
40.	佐伯 清	風車システム設計	關日立製作所
41.	佐野 貴彦	風車構造設計	關日立製作所

